

Disclosure CSR Report

# 池田泉州ホールディングス レポート2015

ディスクロージャー誌・CSRレポート



池田泉州ホールディングス

池田泉州銀行

池田泉州TT証券



S I H D

関西を代表する、開かれた新金融グループに相応しい、関西2府4県の形をモチーフとしたシンボルです。上へと伸びる縦のラインは、新金融グループの誕生によって関西エリアに様々なネットワークのつながりが広がっていくことを表現しています。ブランドカラーは水をイメージ。新金融グループの成長性や自由闊達な社風を象徴する澄んだ青色です。

## 経営理念

「幅広いご縁」と「進取の精神」を大切に、お客様のニーズに合ったサービスを提供し、地域の皆様に「愛される」金融グループを目指します。

## 経営方針

- ①人と人とのふれあいを大切にし、誠実で親しみやすく、お客様から最も「信頼される」金融グループを創ります。
- ②情報収集と時代の先取りに励み、先進的で高品質なサービスの提供によって、地域での存在感が最も高い金融グループを創ります。
- ③健全な財務体質、高い収益力、経営効率の優位性を持つとともに、透明性の高い経営を行い、株主の信頼に応えます。
- ④産・学・官のネットワークを活用し、様々なマッチングを通して、「地域との共生」を進めます。
- ⑤法令やルールを厳守し、環境に配慮した企業活動を行うことによって、社会からの信頼向上に努めます。
- ⑥グループ行員に、自由闊達に能力を発揮し、また能力向上を図れる職場を提供するとともに、よき市民としての成長を支援していきます。

## CONTENTS

トップメッセージ	2	コーポレートデータ	
「地域の皆さまからのご支持No.1」を目指します	3	● グループの沿革	17
池田泉州銀行の経営戦略	5	● プロフィール	19
CSR活動		● 池田泉州ホールディングス 営業の概況	20
● CSR活動の考え方	7	● 池田泉州銀行 営業の概況	21
● 株主・投資家の皆さま	8	● 店舗のご案内	23
● 個人のお客さま	9		
● 法人のお客さま	11		
● 地域社会とともに	14		
● 従業員	16		

本誌は銀行法第21条及び第52条の29に基づいて作成したディスクロージャー資料(業務及び財産の状況に関する説明書類)です。本資料に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

2015年7月発行 池田泉州ホールディングス企画部 池田泉州銀行企画部

## 「地域の皆さまからのご支持No.1」を目指して…

平素は池田泉州ホールディングスグループをお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

池田泉州銀行は、平成27年5月1日に、合併・誕生して5周年を迎えました。

これもひとえに、皆さまのご愛顧・ご支援の賜物と、役職員一同心より感謝申し上げます。

当社グループに対するご理解をより一層深めていただくため、

ディスクロージャー誌「池田泉州ホールディングスレポート2015」を作成いたしました。

本誌では、経営方針や最近の業績とあわせ、各種戦略やCSRについての考え方などを、

まとめておりますので、ご高覧頂ければ幸いに存じます。

平成27年3月期の業績につきまして、池田泉州ホールディングス(連結)の当期純利益は、

前年比9億円増加の175億円となり、合併前の旧両行の単純合算を含めて2年連続で

過去最高益を更新いたしました。

池田泉州銀行の預金残高は、年間1,552億円増加し、貸出金残高は、地元中小企業向け貸出を中心に

年間712億円増加いたしました。預かり資産残高も、池田泉州銀行・池田泉州TT証券とも順調で、

年間209億円増加いたしました。

池田泉州ホールディングスでは、平成27年2月に「長期的資本政策」を公表し、おかげさまで、

5月をもって213億円の公募増資を実現することができました。この資本を有効に活用させていただき、

引き続き地元中小企業向け融資を更に積極的に推進するなど、地域の成長のお手伝いに努めてまいります。

私どもは、「地域第一主義」「お客さま第一主義」の理念を大切に、

“関西No.1のリレーションシップ地域金融グループ”を目指して、

「地域の皆さまからのご支持No.1」のご評価をいただけますよう、

全力で取り組んでまいります。

今後とも、変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、

よろしくお願い申し上げます。

平成27年7月

池田泉州ホールディングス 取締役社長

池田泉州銀行 取締役頭取

藤田 博久



# 地域との「共存共栄」を図りつつ、「地域の皆さまからのご支持No.1」を目指します。



当社グループの営業エリアは、高度な交通ネットワークと4つの政令指定都市を有し、東京都に匹敵する人口と事業所、そして、アジア・チャイナ・ゲートである阪神港と3つの空港を有した全国有数の恵まれたマーケットです。

しかも、従来からのバランスのとれた産業構造に加え、泉北高速鉄道民営化や、更にはエキスポシティ開業や関空コンセッションなどの大規模プロジェクトが計画されており、今後ますます成長が見込まれる極めて高いポテンシャル、いわば「地域力」を有したマーケットです。

こうした中で、池田泉州銀行は「お客さま第一主義」の更なる推進を図るため、平成27年5月に本部組織を一部変更し、地域との「リレーション」機能を更に強化してまいります。CS本部内に「営業統括部」と「リレーション推進部」を設置し、「リレーション推進部」内に、地元自治体との地域振興や産業振興等の協定締結から振興策の策定・推進について、更に「地域との共生」を深化させていくため、「地域創生室」を新設するとともに、「地域創生室」内に「創業支援デスク」を設置し、創業支援に関するノウハウを有する機関とのネットワーク構築や、各地方公共団体との連携を図りながら、創業期の事業者様に対するサポートを強化いたします。

## 長期的資本政策について

池田泉州ホールディングスは、平成27年2月に「長期的資本政策」を公表し、おかげさまで、5月をもって普通株式の新株式発行により213億円の資本調達を実施することができました。

### 資本調達の概要

(1) 第二種優先株式250億円を、「バーゼルⅢ」に適合した商品に入替

第二種優先株式(社債型)

第1回第七種優先株式(強制転換条項付)

(2) 普通株式発行登録200億円

資本調達額 213億円

### 目的・狙い

◆バーゼルⅢ対応上必要な、最小限の資本調達

- ① 長期経営計画達成の確実性を高める
- ② バーゼルⅢ対応に目途
- ③ 「配当金+劣後債務費用」の削減による内部留保蓄積
- ④ 今後の資本政策～株主還元強化とROEを重視した経営

### 調達した資金の使い道

今回調達した資金213億円は、全額子会社の池田泉州銀行への出資に充当

- ① 地元「中小企業」向け融資の積極推進
- ② 新規事業、創業支援への対応
- ③ 戦略的なIT投資

### 株主還元方針

平成28年3月期より「業績連動型」株主還元を導入し、今後蓄積される内部留保をもとに株主の皆さまへの還元を強化いたします。

#### 業績連動の考え方

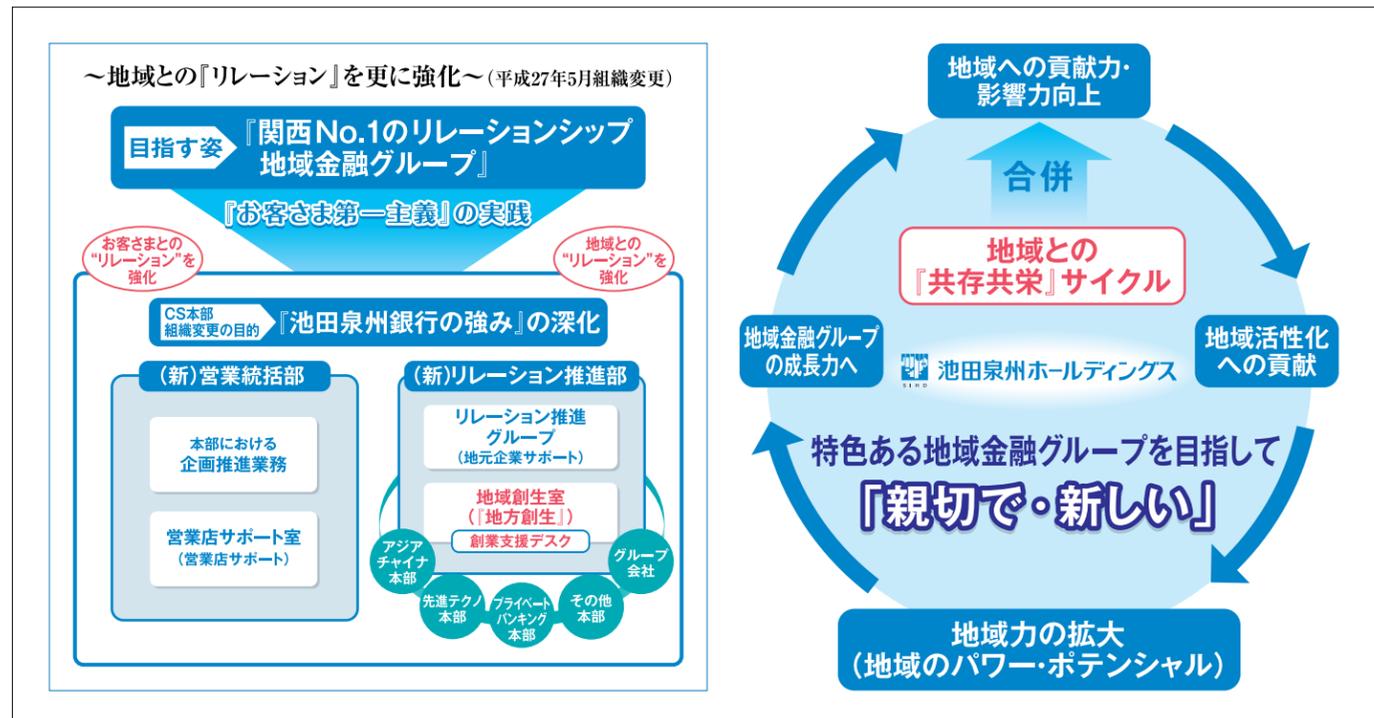
- ① 1株あたり15円配当を安定的に継続
- ② ベースの利益を175億円とし、連結当期純利益の実績がこれを上回った場合、他の要素も勘案しながらその上回った部分の30%程度を配当もしくは自己株式の取得の方法により還元
- ③ 株主還元比率25～30%を目指し、市況動向等を考慮したうえで毎期判断

### 中間配当の検討

投資家の皆さまのニーズへの対応として、中間配当の実施を検討いたします。

### 株主の皆さまとの対話の重視

- 株主懇談会の開催
- 株主優待制度の充実
- 個人向けIRの充実



## 池田泉州銀行の経営戦略

私どもは引き続き、経営の基本戦略として「効率化戦略」「アライアンス戦略」「成長戦略(3つの独自戦略)」を推進し、「地域の皆さまからのご支持 No.1」のご評価をいただけますよう取り組んでまいります。

### 効率化戦略

#### 合併シナジーの実現・ローコスト体制の強化

- ローコストオペレーションを断行し、合併シナジーを最大限に実現します。
- IT投資や事務集中体制の見直しにより、ローコスト体制の強化を図ります。

### アライアンス戦略

独立系の地方銀行として、「系列・グループにとられない自由な独自のビジネスネットワーク」を構築してまいります。

(自治体、内外金融機関、大学・研究機関、政府系機関等)

また、お客さまの様々なニーズに対応するため、これらの高品質な提携ネットワークを活用して、優れた商品・サービスを導入してまいります。

#### 自治体との連携

産業(地域)振興や、環境・エネルギー施策などに関する連携協定を締結した地元自治体は20府市町となりました。

また、協定締結を機に「産業振興融資ファンド」「創エネ・省エネ融資ファンド」などを創設し、地域の事業者の皆さまへの資金供給や、「地域ブランド」の育成・全国発信のお手伝いなど、地域の活性化に努めてまいります。



平成27年1月 猪名川町、猪名川町商工会と締結

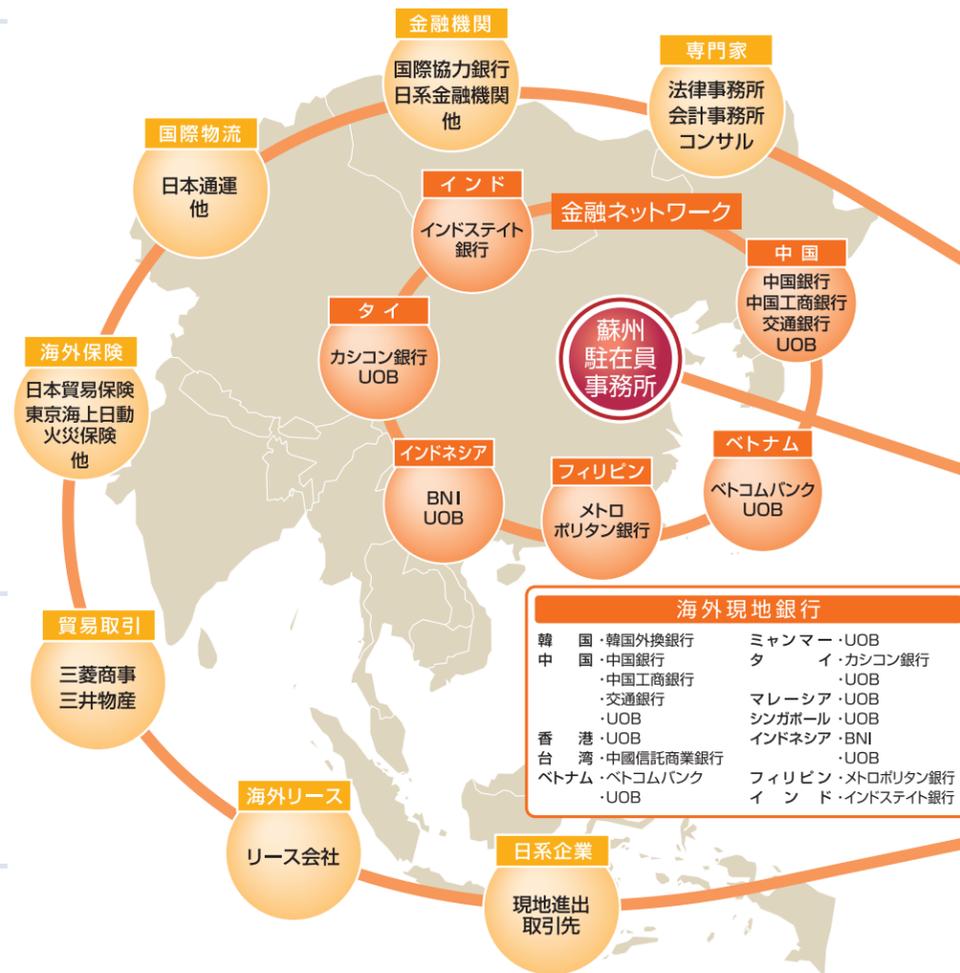
#### 大学との連携

「産学連携基本協定」など、関西の主要な大学との連携は、合計16大学となりました。大学発のベンチャー企業への投融资支援のほか、産業、学術研究、人材育成、まちづくりなど、様々な分野で、相互の交流・産学連携強化を図り、地域社会の発展に貢献してまいります。

#### 海外の銀行との連携

中国・韓国・アセアン諸国・インドの銀行との提携を進めており、海外現地銀行との業務提携は12の国・地域、11行と、近畿地銀最大のネットワークとなりました。

引き続き、アジア地域のネットワーク拡充を図り、地元企業のアジア・チャイナビジネスを積極的にサポートしてまいります。



### 3つの独自戦略

#### 1 アジアチャイナ本部 ~アジア・チャイナビジネスのサポート力強化

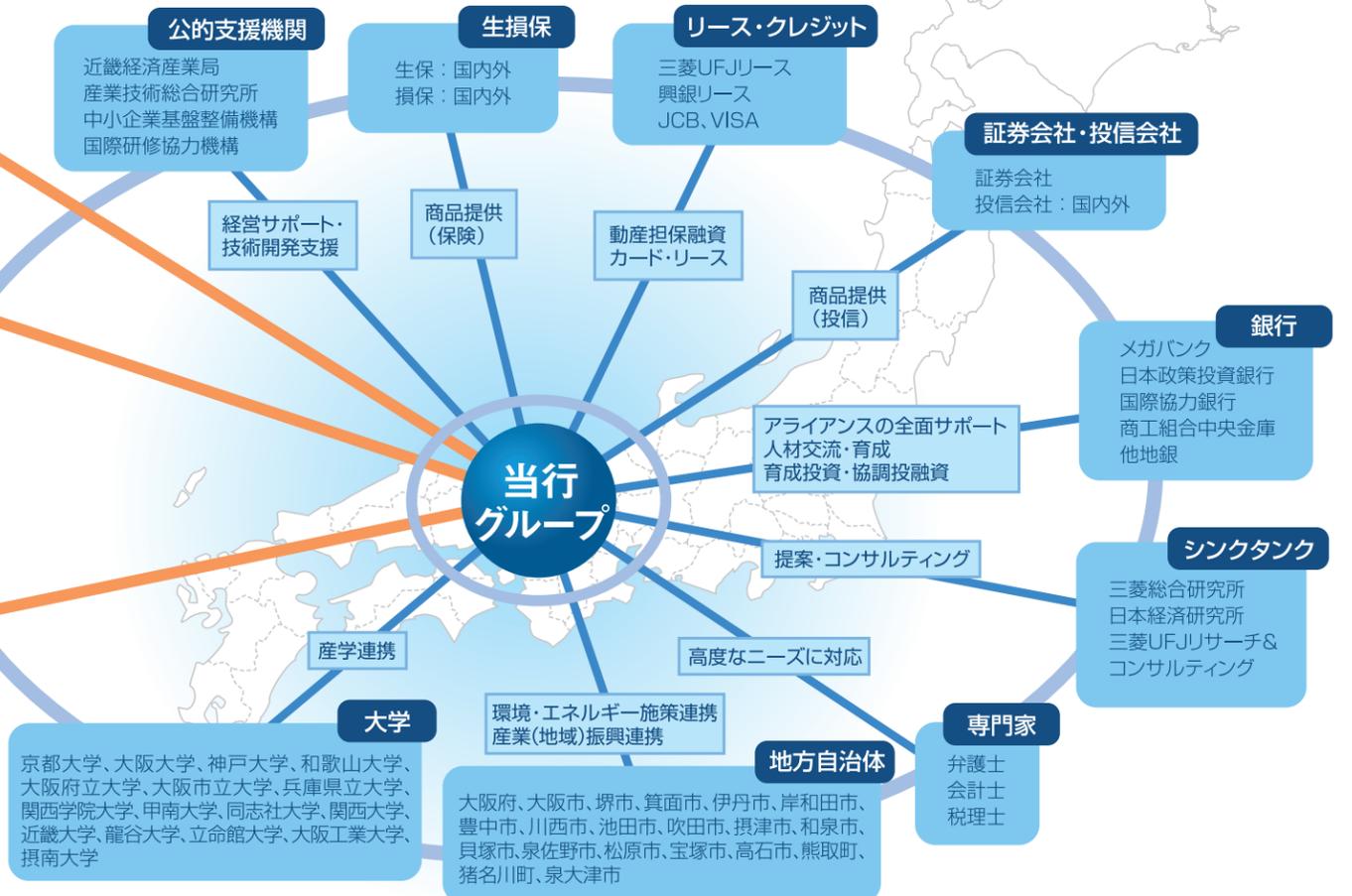
商社・銀行・法律事務所等の提携ネットワークを活用し、きめ細かく・幅広く・具体的に、地元企業の海外進出や貿易取引を支援します。また、自治体・商工会議所との連携によるセミナー開催や、海外ミッション、海外企業との商談会等、お客さまのお役に立つ情報・サービスの提供に努めてまいります。

#### 2 先進テクノ本部 ~産学官連携推進と地元企業の技術サポート

国・自治体・大学・公的研究(支援)機関等との緊密なネットワークを活用・拡充し、産学官連携を推進しながら、助成金制度(ニュービジネス助成金、コンソーシアム研究開発助成金)の運営や助成金応募企業に対する技術マッチング等を通じて、先進的技術を持つ成長企業の支援、新産業創出に貢献してまいります。

#### 3 プライベートバンキング本部 ~プライベートバンキング業務の推進

経験豊富な「プライベートバンカー」を設置し、「プロが」「中長期的に」「幅広く」「オーダーメイドで」、事業承継、資産承継、資金運用、M&A、ローンアレンジメント、医療・介護ビジネス、信託代理店業務等、様々なニーズにお応えてまいります。

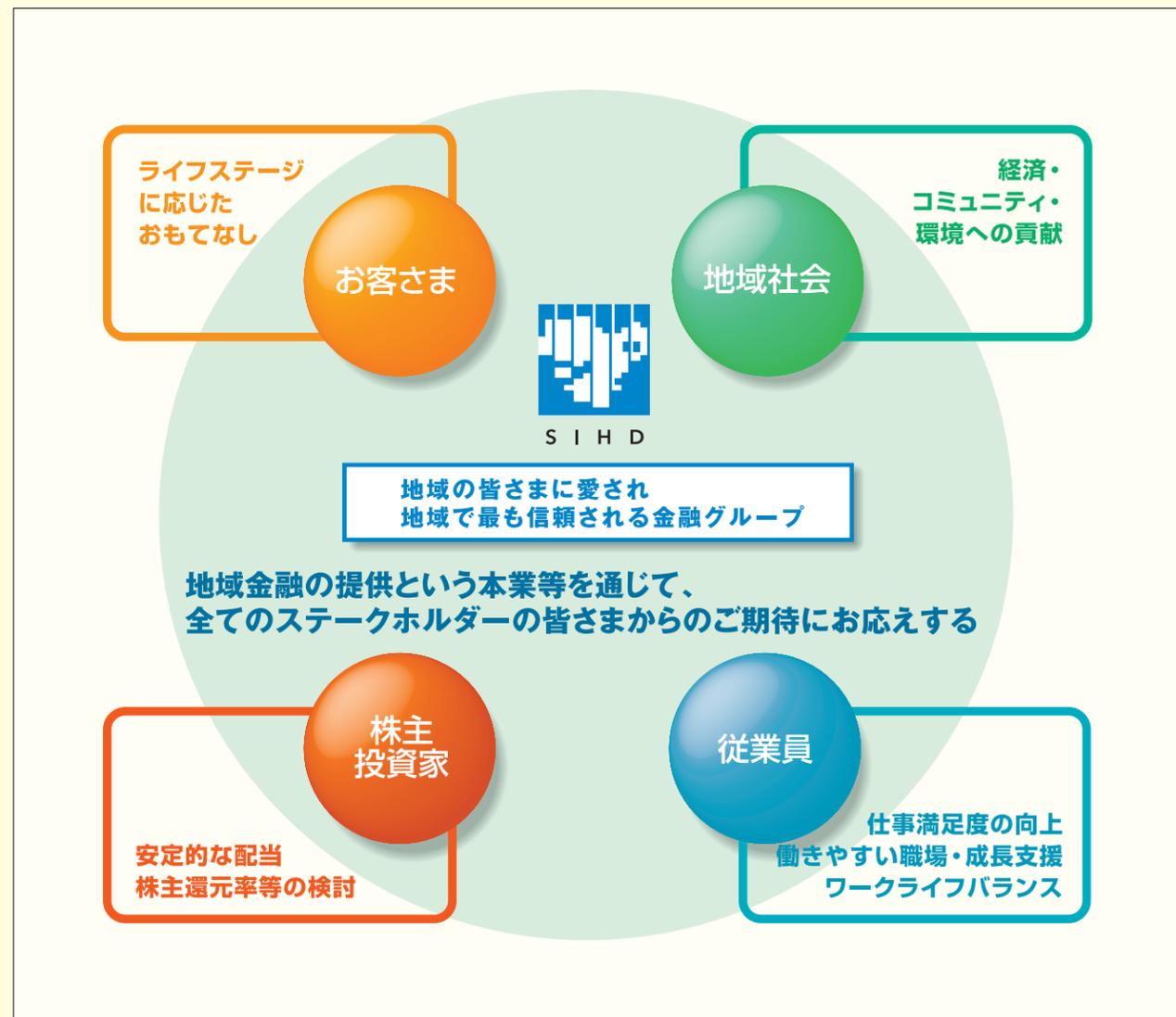


### 池田泉州ホールディングスグループのCSR活動の考え方

池田泉州ホールディングスグループでは、経営理念に掲げているとおり、『地域の皆さまに愛され、地域で最も信頼される金融グループ』を目指しており、本業等を通じて、お客さま・地域社会の皆さま・株主の皆さま・従業員など全てのステークホルダーの皆さまからのご期待にお応えすることがグループのCSR活動と捉えております。

そして、これからも、今までの取組みを「永続的に」「より深化」させ、サステナビリティの実現に向けたCSR活動に積極的に取り組んでまいります。

CSR (Corporate Social Responsibility) : 企業の社会的責任

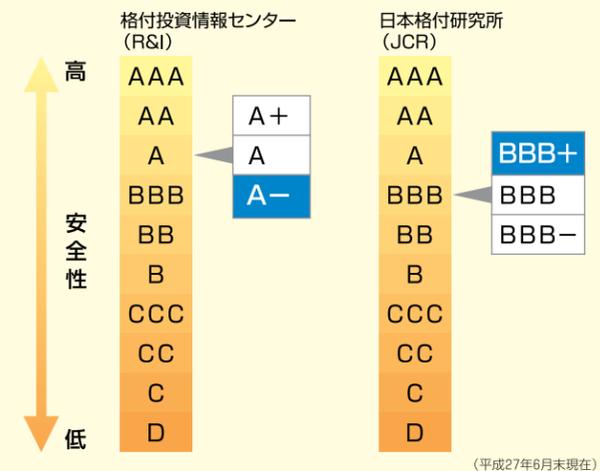


### 株主・投資家の皆さま

企業価値向上を目指して、経営基盤の強化と経営効率の向上に努めています。また、責任ある経営体制の充実を図るべく、コンプライアンス態勢・リスク管理態勢の強化、積極的な情報開示に取り組んでいます。

#### 池田泉州銀行の格付

池田泉州銀行は格付投資情報センター (R&I) から「A-」、日本格付研究所 (JCR) から「BBB+」の格付を取得しています。



格付とは利害関係のない公正な第三者である格付会社が、企業等の信用度や債務履行の確実性等を客観的に評価し、簡単な記号で表したものです。

#### 情報開示の充実

経営の透明性を高め、当社グループへのご理解を一層深めていただくために、情報開示に積極的に取り組んでいます。

毎年、東京において機関投資家やアナリスト向けの会社説明会を開催しております。また、個人投資家の皆さまに向けた説明会の開催にも取り組んでいます。

決算内容などの財務情報については、ホームページに速やかに掲載すると同時に、そのエッセンスを分かりやすく要約したレポートをタイムリーに作成し、お取引先等へ配布しております。



株主や投資家の皆さまをはじめとして、お取引先や地域の皆さま、従業員など、全てのステークホルダーの皆さまに適時・適切な情報を提供するため、銀行法や金融商品取引法などに基づく情報開示のほか、ディスクロージャー誌やホームページなどを通じて当社グループに関するさまざまな情報の積極的な発信に努めております。



#### 株主優待制度

当社株主さまの日頃のご支援にお応えするため、毎年3月31日現在で当社株式を200株以上保有されている株主さまに株主優待を実施しております。2,000株以上を保有されている株主さまには、地域の特産品等(和・洋菓子、地酒、食品等)をお選びいただける「株主優待カタログ」をご用意しております。「株主優待カタログ(地域特産品等)」は、保有株数、保有期間に応じて、より充実した内容にさせていただいております。

池田泉州銀行では、かねてより地元関西活性化のお役に立ちたいとの思いから、地域ブランド発信を応援する商品を発売してまいりました。

今回の優待品も、その思いを込めて、関西各地で愛されてきた自慢の地域食材や長い伝統を誇る地場の名品などを取り揃えました。詳しくは、ホームページ等をご覧ください。

区分		優待内容
保有株数	保有期間	
6,000株以上	3年以上	株主優待カタログ(5,000円相当)又は、株主優待定期預金
	3年未満	株主優待カタログ(3,000円相当)又は、株主優待定期預金
2,000株以上 6,000株未満	3年以上	株主優待カタログ(3,000円相当)又は、株主優待定期預金
	3年未満	株主優待カタログ(2,000円相当)又は、株主優待定期預金
200株以上 2,000株未満	—	株主優待定期預金



個人のお客さま

“親切で新しい…”をモットーに、すべてのお客さまにご利用いただきやすい店舗づくりと、ライフステージに応じた商品ラインナップの充実に努めています。

暮らしにおトクなサービス  
「池田泉州」メインバンクサービス」新登場

当行で給与や公的年金(国民年金・厚生年金・共済年金)をお受取りいただいているお客さまに、当行ATM・駅のATM「Patsat」のお引出しにかかる手数料が無料となる「メインバンクサービス」を開始。さらにスタシアサイカ・ミナピタサイカをご契約いただいているお客さまには、コンビニATM(セブン銀行、ローソン、イーネット)のお引出しにかかる手数料を月4回のご利用分まで、キャッシュバックいたします。

これにより、当行ATMやコンビニATMが、ますます“便利”で“おトク”にご利用いただけるようになりました。



“暦年贈与”のお手続きをサポート  
「みらいギフト(暦年贈与アシストプラン)」発売

平成25年度の税制改正により、生前贈与へのお客さまの関心やニーズが高まる中、世代を繋ぐ取り組みとして、これまでの教育資金一括贈与専用口座に加え、お子さまやお孫さまへの暦年贈与のお手続きをお手伝いする「みらいギフト(暦年贈与アシストプラン)」の取扱いを開始しました。普通銀行では当行が全国初(\*)の取扱いとなります。

また、当行では独自の「相続アドバイザー認定制度」を開始しました。平成27年度中に350名程度の行員を「相続アドバイザー」として育成し、各営業店に複数名配置することで、相続に関するお客さまのお困りごとに対応してまいります。



(\*) 信託銀行を除いて、都市銀行及び地方銀行では全国初(平成27年6月16日 当行調べ)

お客さまの利便性向上を目指して

便利な駅のATM「Patsat」は、平成26年8月に阪急茨木市駅構内コンビニエンスストア「アズナス茨木店」、平成27年3月に阪急今津線今津駅、阪神本線魚崎駅、7月に堺市立総合医療センターに設置。また5月には、泉北高速鉄道を利用されるお客さまの利便性向上を目指し、光明池駅、和泉中央駅にて営業を開始しました。これにより、ステーションATM「Patsat」のネットワークは、阪急電鉄、阪神電気鉄道、北大阪急行電鉄、南海電気鉄道、泉北高速鉄道、神戸市営地下鉄、コンビニ、病院など78駅104カ所128台に拡大しました。

お客さまのより一層の利便性向上を図るため、引き続き、駅のATMネットワークを拡充し、沿線・駅ナカの付加価値拡大に努めてまいります。

また、クレジットカードとIC乗車カード「PiTaPa」が一体となった多機能ICキャッシュカード「スタシアサイカ」は阪急・阪神沿線のお客さまへ、南海電鉄をご利用のお客さまへは「ミナピタサイカ」をご提供しております。

キャッシュカード機能とクレジットカード機能、PiTaPa機能が一枚となった一体型カード(JCBカード)と、PiTaPa機能が別カードになった二枚型カード(VISAカード)をご用意しており、お好みに合わせてご利用いただけます。



若年層専用ATM手数料終日無料サービス  
「U23“0円(応援)”サービス」の取扱い開始

次世代を担う若者を応援することを目的とした若年層専用サービス「U23“0円(応援)”サービス」の取扱いを本年11月に開始します。

18歳から23歳までのお客さまを対象に、24歳の誕生日が到来するまでの最長6年間ご利用いただける、若年層専用のATM手数料終日無料サービスです。

本サービスにより、アルバイトや就職時の給与受取、学費や携帯電話、家賃の引き落としなど、若者の新生活や銀行取引の第一歩を応援します。

**応援**  
① 当行ATM及び駅のATM「Patsat」のお引出しにかかる手数料が終日無料  
② コンビニATM(※)の利用手数料も月4回のご利用分(1回あたり108円(税込))までキャッシュバック  
※セブン銀行、ローソン、イーネットのATMが対象

各地で振り込み詐欺を未然に防止

地元警察や自治体の方と協力して、「振り込み詐欺撲滅キャンペーン」をはじめ、警察による講習会やATMコーナーでの実技訓練などに積極的に取り組み、振り込み詐欺の防止に効果を上げています。

平成26年度では、うね野・佐井寺(出張所)・南千里・城東・名塩・服部の各店が被害を未然に防ぎ、警察署から感謝状を頂戴しました。



今後もお客さまの大切な財産をお守りするために、振り込み詐欺をはじめ金融犯罪の防止に向けて、引き続き取り組んでまいります。

個人インターネットバンキングの  
セキュリティを強化

個人インターネットバンキングのセキュリティを強化するため、平成27年5月から、リスクベース認証を導入いたしました。リスクベース認証とはインターネットバンキングにログインする際、アクセス場所、使用機器、ブラウザ等が普段利用する環境と異なると判断した場合に、全てのお客さまにあらかじめ登録いただいた“合言葉”を入力いただくことにより、追加認証を行なう方法です。

これまで、ワンタイムパスワード(携帯電話等のアプリに表示する1回限りのパスワード)やセキュリティ対策ソフトの無料提供等を行なってまいりましたが、リスクベース認証を導入することにより、一層のセキュリティ強化を図ります。

当行は、今後ともインターネットバンキングを安心してご利用いただけるよう、一層のセキュリティ強化に努めてまいります。

エディオンと連携  
新たに住宅ローンご利用で家電最大10%割引

大手家電量販店の株式会社エディオンと連携し、新たな生活のスタートのお役に立てる“新生活応援キャンペーン”を実施しております。

平成27年9月30日までのキャンペーン期間中、当行住宅ローンを新たにお借入れいただくお客さまを対象に、エディオンでの家電購入などにご利用いただける「エディオンご優待割引券」をプレゼント。

両社は、住まいに関するサービスを通じて、地域のお客さまのより豊かな住生活を応援し、地域経済の活性化を目指します。



金剛支店を装いも新たに  
リニューアルオープン

平成26年7月、「金剛支店」をリニューアルオープンしました。新店舗は、お客さまにご利用いただけるスペースを旧店舗に比べ約2倍に拡張し、相談ブースや全自動貸金庫、多目的ルームを新たに設けるなど、これまでよりもご利用いただきやすい店舗となりました。



お客さまにやさしい店舗づくり

当行は、より便利で使いやすい店舗づくりを目指して、さらなる利便性向上を図るため、店舗内ATM前に手荷物置台を設置しております。

この手荷物置台は、手荷物や傘・ステッキ等をお持ちの場合にATMが操作しづらいというご不便を解消するために、当行独自の工夫により製作し、愛称を“ATMべんり台(だ〜い)”と名付けました。両手が塞がることなくスムーズにATMの操作ができるほか、手荷物を目の前に置くことで視界の外に置く不安も解消されるなど、お客さまから大変ご好評をいただいております。



法人のお客さま

「地域との共存共栄」を主眼に「地域密着型金融の深化」に積極的に取り組んでいます。

「関西活性化シンポジウム」を開催

平成26年8月8日、グランフロント大阪において、「関西が世界を変える 関西から世界を変えよう『WE SHALL CHANGE THE WORLD!』」をテーマに関西活性化シンポジウムを開催しました。

まず、理化学研究所 計算科学研究機構 機構長 平尾公彦氏による「スーパーコンピュータが未来を拓く」と題した基調講演があり、続いて、京都大学の松本総長、大阪大学の平野総長、神戸大学の福田学長、ダイキン工業の井上会長、サントリーホールディングスの鳥井副社長、理化学研究所の平尾機構長の6名によるパネルディスカッションを開催。（役職名はシンポジウム開催当日のものです）

京都大学、大阪大学、神戸大学の全面的なご協力を得てのシンポジウムは、今回で4回目となり、当行が長年取り組んできました産学官連携活動は大きな広がりを見せています。



産学官連携によるビジネスフェアの開催

平成26年12月、大阪国際会議場にて「ビジネス・エンカレッジ・フェア2014」を開催しました。平成12年より続く当フェアの趣旨「地元関西の仕事の創造、競争力強化のお役に立ちたい」との思いを継承し、但馬銀行・鳥取銀行との共催のもと、当行と関わりが深い16の大学や7工業高等専門学校をはじめ、公的機関22団体など産学官135の企業・団体に出席いただきました。

技術向上を目指した活発な情報交換を狙い、「精密加工」「製造環境」など中小企業ものづくり高度化法に基づく特定ものづくり基盤技術11分野にゾーン分けした会場には、2日間で6,700名がご来場、多面的なビジネスチャンス創出の場となりました。



“地域起こし”への取り組み

新規性・独創性あふれるビジネスプランを応援する「ニュービジネス助成金」、産学官連携による中小企業の事業多角化や第二創業を応援する「コンソーシアム研究開発助成金」は、創設以来の累計応募数が2,262件、助成金総額は4億5000万円を超えました。

第16回となる今年度のニュービジネス助成金は、当行の合併5周年を記念して「地域創生特別賞」（総額200万円）を設置。惜しくも大賞・優秀賞・奨励賞には届かなかったものの、特に地域創生に資すると期待されるプランを、4プラン（200万円）を別途表彰いたします。これにより、助成金総額は過去最高の1,200万円となります。



大阪府・大阪市との連携協定施策環境・エネルギーセミナー

平成27年1月、大阪府・大阪市と当行で締結している「環境・エネルギー分野における連携協定」に基づき、「これからの創エネ・省エネを考える」と題したセミナーを開催しました。

近畿経済産業局からの「再生可能エネルギー「固定価格買取制度」の運用見直し」の説明をはじめ、大阪府からは『おおさかエネルギー地産地消推進プラン』の案内、さらに創エネ・省エネ関連事業者様による講演など、密度の濃いセミナーとあわせて、企業による展示ブースにも多くの方が訪れ、創エネ・省エネへの関心の高さをうかがわせるイベントとなりました。



各地元自治体との連携協定締結

平成23年3月の堺市にはじまり、伊丹市・箕面市・岸和田市・豊中市・川西市・池田市・吹田市・摂津市・和泉市・貝塚市・泉佐野市・松原市・宝塚市・高石市・熊取町・大阪府・大阪市と連携を進めてまいりました。さらに平成27年1月に猪名川町と、5月に泉大津市と地域（産業）振興連携協定を締結しました。

協定に基づき、それぞれ「産業振興融資ファンド」を創設し、地域活性化に資する事業資金ニーズにお応えします。これにより、当行が連携協定を結ぶ地元自治体は20府市町となりました。



地元企業の多様なニーズに対応

円安の進行等による仕入価格や電気料金などのエネルギー価格上昇により影響を受けているお客さまへのサポートとして、円安による輸出関連企業の増加運転資金や設備資金などを新たに対象に加え、「前向きな資金需要」や「国内回帰の動き」にもお応えする、「〈池田泉州〉円安・エネルギーコスト等対策サポートローン」を取扱っています。

あわせて、お客さまの資金調達、外国為替等に関する各種ご相談に引き続きお応えするため、平成26年12月に全営業店に設置した「中小企業サポート特別相談窓口」の設置期間を、平成28年3月末まで1年間延長します。



8商工会議所との共同企画「ビジネス商談会」を開催

平成27年6月に、当行と地域の8商工会議所（堺・和泉・泉大津・泉佐野・貝塚・岸和田・高石・八尾の各商工会議所）がコラボレーションした「ビジネス商談会」を堺市産業振興センター イベントホールにおいて開催しました。

当日は、小売店・通販会社・卸売会社等の出展企業21社のバイヤーに対し、販路拡大を希望する201社の地元企業が自社商品の売り込みに臨み、882件の商談が行なわれました。また、自社商品PRコーナーには、参加各社のイチオシ商品が数多く展示され、多くのバイヤーが足をとめて見入っておられました。

当行はこれからも販路拡大を希望する地元企業に対して、商談の場を提供するなど、「地域創生」に向けて積極的に取り組んでまいります。



アジア通貨建て送金 新たに5通貨を追加

平成27年2月より、アジア通貨建て送金の取扱通貨を5通貨（ベトナムドン・インドネシアルピア・フィリピンペソ・台湾ドル・マレーシアリング）追加し、アジア通貨建てでは近畿地銀で最多となる10通貨に拡大しました。

近年、チャイナプラスワンとしての製造拠点や新たなマーケットとして高まりつつある現地通貨建てでの送金ニーズに、幅広くお応えしています。

「輸出サポートチーム」を結成

「関西ブランドの世界展開」を目指すお客さまを応援するために、平成26年10月、「輸出サポートチーム」を結成しました。

地元企業にとって新たなマーケット開拓先として注目されている海外市場への進出に際し、輸出に対する関心やニーズの喚起を行いながら、販路開拓から貿易実務・貿易金融・為替リスクを含むリスクヘッジ・貿易決済までを女性専門スタッフが一貫してきめ細かくサポートするなど、地元企業の国際化のお手伝いに努めております。



海外現地銀行との業務提携を拡大

当行では、中国・韓国・アセアン諸国・インドの銀行との提携を進めております。平成26年7月、台湾の民間銀行最大手の中國信託商業銀行を傘下にもつ中國信託ホールディングと業務協力協定を締結。当行の海外現地銀行との業務提携は12の国・地域、11行となりました。

今後もアジア地域のネットワークを一層拡充させ、お客さまの海外ビジネスのサポート体制を強化してまいります。



タイ・ミャンマービジネスミッションを派遣

産業振興連携協定を締結している堺市と連携し、平成27年2月2日～7日の日程で「タイ・ミャンマービジネスミッション」を派遣し、11社13名の方にご参加いただきました。

ミャンマー/ヤンゴンでは、JETROやミャンマー商工会議所連盟から投資環境や日系企業進出状況等の説明を受け、工業団地等を視察しました。また、タイ/バンコクでは平成24年11月に業務協力協定を締結したカシコン銀行や進出日系企業から、ビジネスマッチングサービスや工場の様子についてお話を伺いました。



## 平成26年度 中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組の状況

### ●中小企業の経営支援に関する取組方針

- ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化に努めます。
- 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底を図ります。
- 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献に努めます。

### ●中小企業の経営支援に関する態勢整備(外部専門家・外部機関等との連携を含む)の状況

- 平成25年1月、オリックス、ジェイ・ウィル・パートナーズと業務提携し、事業再生子会社2社を設立。事業再生支援への取組みを強化しました。
- 平成26年12月、様々なライフステージにあるお客さまへのサポートの更なる向上に向け「中小企業サポート委員会」を設置しました。
- 中小企業再生支援協議会、地域経済活性化支援機構、東日本大震災事業者再生支援機構に職員を派遣し連携を強化しました。
- 平成27年5月、「リレーション推進部」を設置し、部内に「地域創生室」を新設するとともに、室内に「創業支援デスク」を設置しました。
- 高品質な提携ネットワークの拡大を図っています。(内外金融機関、公的機関、自治体、経済団体、商社、物流、大学、シンクタンク等)

### ●中小企業の経営支援に関する取組状況(支援内容、外部専門家・外部機関等との連携、取組事例等)

#### a.創業・新規事業開拓の支援

- 平成15年より助成金制度(ニュービジネス助成金・コンソーシアム研究開発助成金)を運営
- 関西の主要な大学と「産学連携基本協定」締結(15大学)
- 企業間技術マッチング(M&A、業務提携・技術提携、共同開発)
- 「関西活性化融資ファンドⅠ(ワン)」「関西活性化融資ファンドⅡ(ツー)」創設
- 「クリニック応援ローン」「介護事業応援ローン」取扱い



コンソーシアム研究開発助成金 表彰式

#### b.成長段階における支援

- アジア・チャイナビジネスのサポート(海外進出支援、海外販路開拓、クロスボーダーローン等)
- 公的金融機関や現地銀行、異業種との提携
  - ・近畿経済産業局の「関西中小企業ベトナム展開金融支援チーム」に参画
  - ・日本政策金融公庫と池田泉州キャピタルが、ベンチャー支援で業務連携
  - ・海外現地銀行と業務協力協定締結(12の国・地域、11行)
- 堺市との共催によるベトナム・タイ・ミャンマー事業展開サポート



ミャンマービジネスセミナー

- ビジネス商談会の開催による販路開拓支援
- 「輸出サポートチーム」発足による輸出サポート
- アジア通貨建送金のサービス拡充(取扱通貨の拡充)
- 「環境応援融資ファンド」「円安・エネルギーコスト等対策サポートローン」取扱い
- 経済産業省との共催による「新市場創造型標準化制度」のセミナー実施

#### c.経営改善・事業再生・業種転換等の支援

- ビジネスマッチングによる販路開拓支援
- 条件変更に応じた先等について、経営改善計画の策定支援
- 大阪府中小企業再生支援協議会、地域経済活性化支援機構の活用
- 独立行政法人中小企業基盤整備機構及び関西地域の金融機関等とともに「関西広域中小企業再生ファンド」を組成
- 池田泉州キャピタルと中小企業を対象とした企業再生支援ファンド「SIみらいファンド1号」を設立
- リサ・パートナーズと「SI事業再生ファンド」を活用した事業再生に関する業務協力協定を締結
- 事業承継、M&A支援、「プロが」「中長期的に」「幅広く」「オーダーメイドで」



ビジネス・エンカレッジ・フェア2014オープニングセレモニー

### ●地域の活性化に関する取組状況

- 自治体・商工会議所・大学等と合同企業説明会を開催
- 「関西活性化シンポジウム」開催
- 「ビジネス・エンカレッジ・フェア2014」開催
- 自治体・商工会議所との連携(20府市町)、産業振興融資ファンドの創設
  - ・「地域ブランド」応援定期預金として、「水なす定期便」発売
  - ・出産祝金付積立定期「猪名川町エンゼルつみたて定期預金」の取扱い
- 「親元近居住宅ローン」「親元近居リフォームローン」「転入促進・定住促進住宅ローン」の取扱い(5市町)

## 地域社会とともに

地元自治体との連携強化のほか、地域の文化・芸術・スポーツ活動の応援や協賛、環境保全活動など、さまざまな地域貢献活動に取り組んでいます。

### 第22回泉州国際市民マラソンに特別協賛

平成27年2月15日、「第22回泉州国際市民マラソン」が開催されました。今大会は関西国際空港開港20周年の記念大会で、国内外から過去最高となる5,255人ものランナーが参加しました。当行からも50名の選手が出場するとともに、地元銀行として大会の運営やボランティアにも168名の行員が参加。総合優勝者には、「池田泉州銀行 頭取杯」が授与されました。



今年はイベントエリアにおいて、初めて当行もブースを出展し、地元企業様のご協力のもと、各社商品の販売を行い、売上金の全額を大会実行委員会に寄付いただきました。

### 地域の環境保全を応援

当行の合併5周年記念として、これまでのお客さまのあたたかいご支援・ご愛顧に感謝し、平成27年3月、地域の環境保全を応援する預金商品、「みどりひろがる定期預金」及び、環境に配慮した経営を行う事業者さま向けの融資商品「環境応援融資ファンド」を同時発売。当商品のお預入れ総額、ご融資総額のそれぞれ0.005%を、地域の緑化推進を目的とする基金・団体に寄付いたします。



### 自然環境保全活動に 当行の行員と家族が参加

当行は、緑を増やすことで地球温暖化を防止し、次世代の子供たちや動物に暮らしやすい環境を残すことを願って、さまざまな活動に積極的に参加しております。

「共生の森・草刈イベント」、「共生の森・植樹祭」には、毎年当行の行員とその家族がボランティアとして参加しています。

「共生の森」は、大阪府やNPO、企業等の団体が協働で、堺市臨海部の廃棄物処分場跡地で森づくりを進めているもので、自然の回復力を活かしながら、野鳥や小動物が生息する大規模な「ビオトープ」を創造していくという取組みです。



### がん検診の受診率向上に向け 宝塚市と連携協定を締結

平成26年7月23日、宝塚市と「宝塚市がん検診の受診率向上推進企業グループ(当行、アフラック)」は、宝塚市のがん検診の受診率向上に向けた包括的連携に関する協定を締結しました。7月26日・27日には、本協定に基づき、阪急宝塚駅1階コンコースにて「がんを知る展」を開催し、アフラック協力の下、「がん」についてのパネルや直接触れることのできる「乳がん触診模型」等を展示し、来場された方々にご覧いただき、がん検診の必要性を感じていただきました。



### 百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援

大阪が誇る観光資源である仁徳天皇陵古墳、応神天皇陵古墳をはじめとした「百舌鳥・古市古墳群(もず・ふるいちこふんぐん)」の世界文化遺産登録を目指し、平成26年10月より近隣営業店舗において「百舌鳥・古市古墳群」の幟(のぼり)を店頭ロビーに掲示しています。

当行では、観光地域づくり、広域観光周遊ルートの形成のお役に立てるよう、地域資源の発信・PRのサポートをしております。



### 各地で合同企業説明会開催

優れた人材確保を望まれる地元企業と就職を希望される若者との雇用マッチングの場として、合同企業説明会を開催しています。平成26年度は、7月に「あべのハルカス」で大阪労働局や大阪府などと共同開催した「OSAKAジョブフェアinハルカス」をはじめ、堺市、松原市・阪南大学、大阪府及び阪神間のハローワーク、また、平成27年3月には吹田市・大阪学院大学とも連携し、計5回の説明会を開催しました。参加企業数は合計で延べ339社にも上り、各地で熱気あふれる説明会となりました。

当行はこれからも、地域の雇用促進を図るとともに、地域活性化のお手伝いにも努めてまいります。



親子科学教室を開催

池田市、産業技術総合研究所関西センターと共同で「親子科学教室」を開催し、池田市内の小学4～6年生とその保護者様約120名が参加されました。



当日は、産業技術総合研究所関西センター研究支援アドバイザーの牧原正記氏のクイズ形式の講演や、実験などを通して、子どもだけでなく保護者様も一緒に楽しくわかりやすく学んでいただきました。



池田泉州TT証券

金融リテラシー向上への取組み

池田泉州TT証券では、文部科学省が推進する「土曜日教育ボランティア」運動の趣旨に賛同し、金融経済教育の拡充・推進に取り組んでおります。平成27年7月、日本証券業協会のご協力のもと、堺市立登美丘西小学校において6年生を対象に出前授業を行ないました。「株式会社のしくみ」をテーマに、児童のみなさんが、お菓子メーカーの社員として売れる商品パッケージを考える体験型学習プログラムにより、グループワークで全員が積極的に参加し、立派なプレゼンが行われました。



今後も地域貢献活動として、地域の未来を担う子ども達への正しい金融知識の普及、金融リテラシーの向上に取り組んでまいります。

従業員

従業員が個性と能力を発揮できる環境、誇りと意欲を持って仕事に取り組める職場づくりに取り組んでいます。また、高度化・多様化する顧客ニーズに的確に対応し、地域に貢献できる人材を育成するために、各種研修、行内外トレーニー、自己啓発支援を実施しています。

研修制度・自己啓発支援の充実

体系的な研修

新入行員から管理職まで、役割遂行能力および人間力の向上を目的とした階層別研修を実施しています。

また、資産運用・法人営業などの営業力強化等、個々のスキルに応じて着実なステップアップを目的とした、実践的な業務別研修を行っています。

休日セミナー・イブニングカレッジ

休日や平日夜間に若手から支店長まで全職員を対象とした自由参加型セミナーを開催しています。当行行員として求められる教養や知識を発信し、自己啓発の機会・学びの場を提供しています。



トレーニー制度

若手行員を対象とした、本部専担部署にて国際業務・市場部門・与信審査・事業承継(M&A)等の専門能力を育む「行内トレーニー」と、中堅行員を中心に政府系金融機関、海外金融機関や外部専門機関等への派遣を通じた高度な専門知識とスキルの習得を目指す「行外トレーニー」があります。

資格取得支援制度

行員自身が目指すキャリア形成を支援すべく、各種資格取得に対する支援制度の充実を図っています。

平成26年8月には、同制度を活用した行員が地方銀行員として初のシニアプライベートバンカー資格<sup>(※)</sup>を取得しました。  
(※日本証券アナリスト協会認定)



多様な人材が活躍する職場づくり

年齢・性別にかかわらず能力・意欲のある人材の積極的な登用と「働き甲斐のある誇れる職場」づくりを進めています。

平成25年12月に新設した「ダイバーシティ推進室」では、まずは「女性活躍」をテーマに、様々な研修やセミナーを通じて「意識改革支援」「能力開発支援」「両立支援」に取り組んでいます。

平成26年度中に新たに7名の女性支店長を登用しており、それ

に続く役員層への登用も着実に進んでいます。

また、シニア層においては、キャリアプラン研修やカウンセリング等を実施し、個々人のキャリアプランに応じた職務・分野にて豊富な経験と知識を活かせる環境づくりを実施しています。

今後更に、ダイバーシティの推進により企業価値を向上させ、お客さまにより質の高い金融サービスの提供を図ってまいります。

仕事と家庭の両立支援

各種制度や支援施策を充実させ、ワークライフバランス(仕事と家庭の両立)および中長期的な視点でのキャリア形成を支援しています。

制度面では、育児短時間勤務および所定外勤務免除制度の適用期間を延長した他、外部機関と連携し病児保育や介護サービス、家事代行サービスの利用額補助等、多面的なサポートを実施しています。

また、出産前から復帰後までの行員を対象とした「復帰応援ミーティング」の実施や自宅閲覧可能なeラーニングシステムへ業務関連や自己啓発教材を掲載する等、育児休業中も業務知識やスキルアップのための学習機会を提供し、円滑な職場復帰を支援しています。



復帰応援ミーティング

「健康増進室」を設置

企業を支える従業員の心身の健康管理への支援を強化するため、平成27年7月、専担部署として人事部内に「健康増進室」を設置しました。これにより、健康増進への取組みを重要な事項のひとつ

と位置付け、従業員の健康維持・向上に向けた各種施策に取り組んでまいります。

地域のいろいろなイベントに協賛

当行は、地域の持続的発展に向けて、地元の20自治体と連携協定を結んでいます。地域のにぎわいづくりの推進を応援するために、いろいろなイベントにも積極的に協賛しています。

●日本菊花全国大会…平成26年10月、第31回大会が和泉市の国華園で開催され、全国各地の菊づくり名人がその技を競いました。この大会を後援している当行は、4名の方に「池田泉州銀行頭取賞」を贈りました。



●ヘルシーハイキング…平成27年3月に開催された「南海ヘルシーハイキング 泉大津の寺社・城跡を巡り、逆立ちしている狛犬が待っている忠岡町を歩く」(南海電鉄主催)に協賛しました。このハイキングは、歴史と文化にあふれた泉大津市と忠岡町の寺社・城跡を巡る全行程12kmの「ウォークイベント」です。ゴール受付の当行忠岡支店駐車場ではブースを設け、当行職員が参加者のみなさんをお迎えしました。



●岸和田城音楽祭…音楽による地域活性化を図るため、国の登録有形文化財に登録されている「自泉会館」で開催される岸和田城音楽祭を、特別協賛企業として応援しています。



●泉州市民卓球大会…30回を数えるこの大会も、協賛企業として応援を続けています。小学生から大人まで約230名の選手による熱戦が繰り広げられ、優勝チームには「池田泉州銀行杯」が授与されました。



このほかにも、岸和田だんじり祭、池田市民カーニバルなど地元のお祭りや地域の文化活動など、数多くのイベントに協賛しています。

池田銀行

1950	1951年	10月開業 資本金3,500万円 清瀧幸次郎 頭取就任
1960	1960年	大阪支店開設
	1963年	大阪証券取引所第2部に上場
	1964年	神戸支店開設
1970	1971年	資本金20億円に増資 東京証券取引所第2部に上場
	1972年	東京支店開設 東京・大阪証券取引所第1部に上場 外国為替業務開始
	1973年	資本金33億5,000万円に増資
	1977年	京都支店開設
1980	1980年	清瀧一也 頭取就任
	1983年	国債等の窓口販売開始
	1985年	公共債ディーリング業務開始
	1986年	外国為替コルレス業務開始
	1987年	資本金56億円に増資
	1988年	担保付社債信託業務の免許取得 第1回無担保転換社債(100億円)発行
	1989年	コルレス包括承認銀行に昇格
1990	1990年	公募増資実施 資本金143億円に CD・ATMの本格的日稼稼働の開始 VI(ビジュアル・アイデンティティ)の導入
	1992年	中間発行増資実施 資本金196億円に
	1993年	信託業務開始(代理店方式)
	1994年	情報システムセンター完成
	1998年	ブロック別営業開始 投資信託窓口販売開始
	1999年	第三者割当増資実施 資本金278億円に
2000	2000年	第2回無担保転換社債(80億円)発行 阪急電鉄とATM共同運営会社設立 ステーションATM「Patsat」事業開始 第1回ビジネスマッチングフェア開催 堂島営業部・大阪西支店開設
	2001年	服部盛隆 頭取就任 第三者割当増資実施 資本金332億円に 損害保険商品販売開始 神戸支店移転、プライベートバンキングプラザ開設
	2002年	東京支店移転、住宅ローンプラザ設置開始 生命保険商品販売開始 摂津支店開設、六甲支店移転
	2003年	「ニュービジネス助成金」など「地域起こし制度」創設 大阪支店移転、塚口支店・逆瀬川支店開設
	2004年	第3回無担保新株予約権付社債(100億円)発行 三菱商事と業務協力の覚書を締結 日本政策投資銀行と新株予約権付協融資実施 第1回ビジネス交流会開催 「コンソーシアム研究開発助成金」創設 千里丘支店開設 第1回チャリティフェスタ開催 野村證券との提携による「証券仲介業務」開始 「池銀キャピタル夢仕込ファンド」1号投資事業組合設立 関西学院大学との産学連携協定に基づく投融資制度を創設
2005	2005年	基幹システムを「NTTデータ地銀共同センター」へ移行 生体認証機能搭載の「ICキャッシュカード」発売 商工組合中央金庫と業務協力協定締結
	2006年	国内外公募等による増資実施 資本金477億円に 甲南大学と産学連携協定を締結 同志社大学との産学連携協定に基づく投融資制度を創設 蘇州駐在員事務所開設 第1回宝塚歌劇貸切公演開催 インターネット支店開設、すみれの花定期預金発売 「大阪梅田池銀ビル」竣工 大阪梅田営業部・プライベートバンキングサロン開設 南千里支店移転、彩都支店・芦屋支店開設 中小企業基盤整備機構近畿支部と業務提携 「京大ベンチャーNVCC1号投資事業 有限責任組合」へ出資 新型ICキャッシュカード「スタシアサイカ」取扱開始 ポイントサービス取扱開始 堺筋支店開設
	2007年	「かん保険」医療保険販売開始 「介護保険」販売開始 第三者割当増資実施 資本金643億6,500万円に 「手のひら」と「指」の両静脈認証方式対応の新型ATM設置開始 大阪府立大学・大阪市立大学と産学連携協定を締結 「同志社ベンチャー1号投資事業 有限責任組合」へ出資 ステーションATM「Patsat」阪神電鉄沿線に拡大 第三者割当増資実施 資本金768億6,500万円に 神戸大学と産学連携協定を締結
	2008年	
	2009年	

泉州銀行

1950	1951年	1月株式会社泉州銀行設立登記 資本金3,000万円 吉田忠郎 頭取就任 2月本店(岸和田市魚屋町91-1)にて営業開始
	1953年	資本金を6,000万円に増資 大江清 頭取就任
	1954年	資本金を1億2,000万円に増資
	1955年	和歌山支店開設
	1956年	資本金を2億4,000万円に増資
	1959年	本店を岸和田市宮本町に移転
1960	1960年	資本金を3億2,000万円に増資
	1963年	佐々木勇蔵 頭取就任
	1964年	資本金を5億円に増資
	1967年	外貨両替商業取扱認可
	1968年	外国為替業務を開始
1970	1970年	資本金を12億円に増資
	1971年	東京支店開設
	1972年	資本金24億円に増資 大阪証券取引所第2部へ株式上場
	1973年	大阪証券取引所第1部へ株式上場 シンボルマーク制定、企業理念「愛と責任」確立
	1974年	中込達雄 頭取就任 資本金37億円に増資 普通預金、納税準備預金、為替、オンライン処理実施
	1975年	現金自動預金機(AD)第1号機導入 スィフト(国際銀行データ通信システム)加盟
	1976年	海外コルレス業務開始
	1979年	空港問題連絡会設置
1980	1980年	関西新空港対策本部設置
	1981年	ローンセンター設置
	1982年	海外コルレス包括承認
	1983年	国債の窓口販売開始
	1984年	日本銀行代理店契約締結 資本金40億7,000万円に増資
	1985年	債券ディーリング開始
	1986年	債券フルディーリング開始 CD、ATMの時間延長、休日稼働実施
	1987年	ALM委員会設置 資本金80億円に増資
	1988年	第1回無担保転換社債100億円発行 担保付社債信託事業免許の取得 公募増資1,000万株の実施
1990	1990年	第1回泉州・千亀利マラソン協賛
	1991年	国際業務総合オンライン開始
	1992年	第1回せんぎんコンサート協賛
	1993年	外国為替店舗新設に関する包括許可取得 亀井敬之 頭取就任
	1995年	懸賞品付定期預金「空港夢物語」発売
	1997年	テレホンバンキング「ダイレクトホン」本格稼働
	1998年	システムセンター竣工
	1999年	投資信託の窓口販売を開始 優先株による第三者割当増資128億円を実施 柳曾健二 頭取就任
2000	2000年	第1回泉州市民卓球大会に協賛 普通株による第三者割当増資200億円を実施 三和銀行とATM相互開放開始 株式会社バンク・コンピュータ・サービス設立
	2001年	普通株による第三者割当増資650億円を実施 吉田憲正 頭取就任 創立50周年を迎え、地元自治体に植樹の寄贈 損害保険の窓口販売を開始 鳥取銀行とのシステム共同化を開始 「天候デリバティブ」の取扱を開始
	2002年	地区住宅ローンセンター(全16カ所)を増設 「くせんぎん」ダイレクトライン」サービス開始 生命保険商品の窓口販売を開始 ダイレクト支店開設
	2003年	インターネット投資信託取扱開始 第1回せんぎん・ビジネス商談会開催
	2004年	法人向けインターネットバンキングの開始 UFJつばさ証券との提携による証券仲介業務の開始
2005	2005年	大正銀行とのシステム共同化を開始 東京三菱銀行とATM相互開放開始
	2006年	一時払終身保険の取扱を開始 個人のお客様専用店舗「千里中央支店」を開設 生体認証機能付「せんぎん」デュアルICカードの取扱を開始 南海電鉄難波駅構内に「せんぎん」クイック外貨 両替ショップ難波駅店を開設
	2008年	がん保険の取扱を開始

池田泉州ホールディングス

	2009年	10月 持株会社「株式会社 池田泉州ホールディングス」設立 資本金500億円 東京証券取引所・大阪証券取引所第1部に上場
	2010年	公募増資実施 資本金723億円に
	2012年	東海東京フィナンシャル・ホールディングスと共同出資による証券会社の設立で基本合意
	2013年	「株主優待制度」拡充
	2014年	第三者割当増資実施 資本金798億円に 株式会社自然総研を直接出資会社として再編成
	2015年	第三者割当増資・公募増資実施 資本金1,029億円に

池田泉州銀行

	2010年	子会社の池田銀行と泉州銀行が合併し「株式会社 池田泉州銀行」が誕生 「関西活性化シンポジウム」・「産学官連携 関西活性化」フェア開催 外貨両替ショップ梅田店・夙川支店開設、東岸和田支店移転 関西大学と産学連携協定を締結
	2011年	近畿大学・龍谷大学・和歌山大学・兵庫県立大学と産学連携協定を締結 国際協力銀行・日本通運・東京海上日動火災保険と業務協力協定を締結 中国工商银行・中国銀行・交通銀行と連携強化 堺市・伊丹市・箕面市・岸和田市と産業振興連携協定を締結 独立行政法人日本貿易保険と貿易保険業務委託契約を締結
	2012年	コンピューターシステム統合完了 豊中市・川西市・池田市・吹田市・摂津市・和泉市・貝塚市・泉佐野市・松原市・塚本と産業(地域)振興連携協定を締結 神戸支店を東京支店に、千里中央駅前支店を千里中央支店に、大阪支店を本町支店に統合 藤田博久 頭取就任 津久野特別出張所が津久野支店に変更のうえ移転、住吉御影支店開設 国際協力銀行とクレジットライン契約を締結 京大・大阪大・神戸大と中国5大学による「中国蘇州シンポジウム」を開催 近畿地銀初の個人向け中国人民幣建て外貨預金取扱開始 大阪大学と産学連携協定を締結 カシコン銀行(タイ)、バンクネガラインドネシアと業務協力協定を締結
	2013年	淡路支店移転、外貨両替ショップ川西店開設 「Patsat」神戸市営地下鉄沿線に拡大、「NBANK」Patsatとして、南海電鉄沿線に拡大 高石市・熊取町と産業(地域)振興連携協定を締結 立命館大学と産学連携協定を締結 韓国外換銀行と業務協力協定を締結、近畿地銀初のウォン建て送金の取扱開始 南海電鉄との提携による多機能ICキャッシュカード「ミナビタサイカ」を発行 ベトナムバンク(ベトナム)、ユナイテッド・オーバーシーズ銀行(シンガポール)、メトロポリタン銀行(フィリピン)と業務協力協定を締結 ダイバーシティ推進室を新設 京大・大阪大・神戸大とベトナム3大学による「ベトナム・ハノイシンポジウム」を開催
	2014年	大阪府・大阪市と「環境・エネルギー施策連携協力に関する協定」を締結 豊中南支店を服部支店に統合 あべのハルカス支店・外貨両替ショップあべのハルカス店開設 高石支店・ときわ台支店・金剛支店リニューアルオープン 近畿地銀初のタイパーズ建て直接貸出(クロスボーダーローン)を取扱開始 インドステイト銀行、中國信託商業銀行(台湾)と業務協力協定を締結 近畿財務局から頭取 国際研修協力機構と業務協力に関する覚書を締結 公式Facebookページ開設 大阪工業大学・摂南大学と産学連携協定を締結
	2015年	猪名川町・泉大津市と地域(産業)振興連携協定を締結 合併5周年を記念して、預金及び融資等の記念商品を発売 NTTデータと「次世代預かり資産営業支援システム」の共同開発に合意 「NBANK」Patsat泉北高速鉄道沿線に拡大 株主割当増資実施 資本金613億円に

池田泉州TT証券

	2013年	9月 池田泉州ホールディングスの子会社、「池田泉州TT証券 株式会社」が営業開始
--	-------	--



## 株式会社 池田泉州ホールディングス

**設立日** 平成21年10月1日  
**所在地** 大阪府大阪市北区茶屋町18番14号  
**資本金** 798億円(平成27年7月末現在 1,029億円)  
**事業の内容** 銀行、その他銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理及びこれに付帯関連する一切の事業  
**従業員数** 86名  
**上場取引所** 東京証券取引所

### ■役員 (平成27年6月26日現在)

代表取締役社長	藤田 博久	取締役	田原 彰	取締役(社外)	大橋 太朗
代表取締役会長	片岡 和行	取締役	鶴川 淳	取締役(社外)	平松 一夫
代表取締役	久保田 洋	取締役	井上 基	監査役(常勤)	昌尾 一弘
代表取締役	辻 二郎	取締役	前川 浩司	監査役(常勤)	西 隆史
		取締役	前野 博生	監査役(社外)	今中 利昭
		取締役	宮田 浩二	監査役(社外)	佐々木 敏昭

## 株式会社 池田泉州銀行

**設立日** 昭和26年9月1日  
**所在地** 大阪府大阪市北区茶屋町18番14号  
**資本金** 507億円(平成27年7月末現在 613億円)  
**預金** 4兆7,725億円  
**貸出金** 3兆6,560億円  
**店舗数** 139カ店  
**従業員数** 2,512名

### ■役員 (平成27年6月26日現在)

代表取締役頭	藤田 博久	常務取締役	田原 彰	取締役(社外)	大橋 太朗
代表取締役会長	片岡 和行	常務取締役	鶴川 淳	取締役(社外)	平松 一夫
代表取締役専務	久保田 洋	常務取締役	井上 基	監査役(常勤)	小林 弘明
代表取締役専務	辻 二郎	取締役	前川 浩司	監査役(常勤)	北川 智司
		取締役	前野 博生	監査役(社外)	山田 庸男
		取締役	宮田 浩二	監査役(社外)	福田 秀樹

## 池田泉州TT証券 株式会社

**設立日** 平成25年1月30日  
**所在地** 大阪府大阪市北区茶屋町18番14号  
**資本金** 12億5,000万円  
**店舗数** 3カ店  
**従業員数** 78名

### ■役員 (平成27年6月26日現在)

代表取締役社長	北村 康男	監査役(常勤)	坂戸 豊
代表取締役副社長	田島 寛美	監査役(社外)	昌尾 一弘
常務取締役	工藤 守	監査役(社外)	脇田 廣一



連結ベース

■ 連結経常利益・連結当期純利益

(単位:百万円)



■ 連結自己資本比率(国内基準)

(単位:%)



経営環境

当連結会計年度におけるわが国経済は、昨年4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動はありましたが、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は底堅い動きとなり、企業収益も改善の動きがみられるなど、緩やかな回復基調が続きました。

物価情勢につきましては、年前半は緩やかに上昇しましたが、その後は、国内企業物価は国際商品市況の下落を反映して緩やかに下落し、消費者物価は横ばいとなりました。

金融面につきましては、日本銀行による異次元の金融緩和のもとで、マネタリーベースが大きく増加し、無担保コールレート(翌日物)が0.1%を下回る水準で推移しました。長期金利は、日本銀行による国債大量買入で堅調な債券需給が続く中、欧米の長期金利も低下基調となったことで、日本国債利回り(10年物)は1月に史上最低金利(0.195%)をつけ、その後は0.3%台から0.4%台で推移しました。

株価につきましては、5月中旬まで弱含みで推移しましたが、5月下旬以降は政府の新しい成長戦略への期待感や米国株価の上昇を好感して緩やかな上昇基調となり、9月末には16,000円台前半となりました。10月に入り、世界的な景気減速懸念などから下落しましたが、10月末の日本銀行の追加金融緩和により急反発し、その後も円安の進行や消費税増税の先送り、国内景気の回復や企業業績の拡大を受けて、3月下旬には19,000円台後半まで上昇しました。

業績の概要

池田泉州ホールディングスグループの27年3月期の連結業績につきましては、連結経常収益は、池田泉州銀行において有価証券利息配当金の増収を主因とする資金運用収益の増加、池田泉州TT証券の預かり資産販売手数料の増収による役務取引等収益の増加、国債等債券売却益の増加によるその他業務収益の増加により、26年3月期比94億69百万円増加し、1,143億24百万円となりました。

一方、連結経常費用は、池田泉州銀行において預金などの調達利回りの低下を主因とした資金調達費用の減少、経費などの削減による営業経費の減少や与信関連費用などのその他経常費用の減少などがありましたが、国債等債券売却損などのその他業務費用が増加したことにより、26年3月期比56億79百万円増加し、929億82百万円となりました。

以上の結果、連結経常利益は26年3月期比37億91百万円増加し、213億42百万円となりました。また、特別利益として負ののれん発生益15億96百万円を計上しましたが、26年3月期に特別利益として計上した退職給付信託設定益22億91百万円がなくなったことや、法人税等合計として42億77百万円を計上したことから、連結当期純利益は26年3月期比9億80百万円増加し、2期連続過去最高益となる175億84百万円となりました。

また、池田泉州ホールディングスグループの連結自己資本比率は、10.09%となり、国内基準行に求められている基準の4%を十分に上回っております。

連結ベース

■ 連結経常利益・連結当期純利益 (単位:百万円)

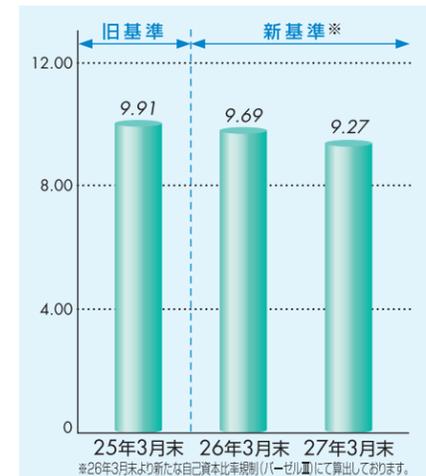


■ 連結自己資本比率(国内基準) (単位:%)

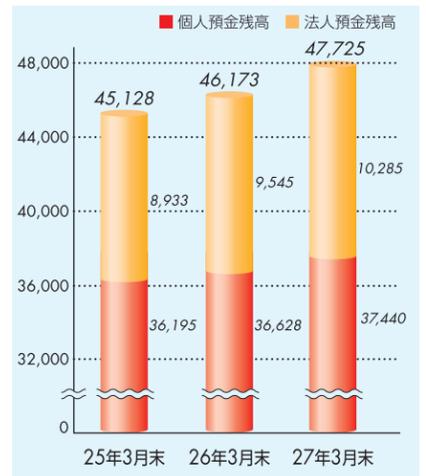


単体ベース

■ 単体自己資本比率(国内基準) (単位:%)



■ 預金残高 (単位:億円)



■ 預かり資産残高 (単位:億円)



単体ベース

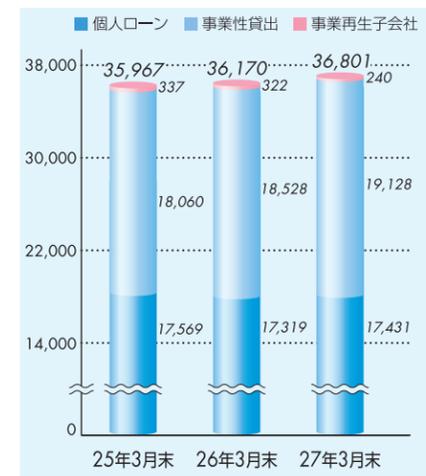
■ 実質業務純益 (単位:百万円)



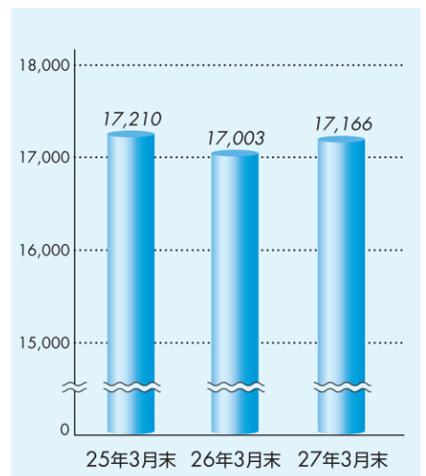
■ 経常利益・当期純利益 (単位:百万円)



■ 貸出金残高 (単位:億円)



■ 住宅ローン残高 (単位:億円)



■ 金融再生法開示債権残高・比率 (単位:億円)



業績の概要(連結)

池田泉州銀行グループの27年3月期の連結業績につきましては、連結経常収益は、有価証券利息配当金の増収を主因とする資金運用収益の増加、預かり資産販売手数料の増収による役務取引等収益の増加、国債等債券売却益の増加によるその他業務収益の増加により、26年3月期比82億71百万円増加し、1,125億86百万円となりました。

一方、連結経常費用は、預金などの調達利回りの低下を主因とした資金調達費用の減少、経費などの削減による営業経費の減少や与信関連費用などのその他経常費用の減少などがありました。また、国債等債券売却損などのその他業務費用が増加したことにより、26年3月期比49億69百万円増加し、917億13百万円となりました。

以上の結果、連結経常利益は26年3月期比33億2百万円増加し、208億72百万円となりました。また、特別利益として負ののれん発生益15億96百万円を計上しましたが、26年3月期に特別利益として計上した退職給付信託設定益22億91百万円がなくなったことや、法人税等合計として40億38百万円を計上したことから、連結当期純利益は26年3月期比8億59百万円増加し、2期連続過去最高益となる175億37百万円となりました。

また、池田泉州銀行グループの連結自己資本比率は、10.51%となり、国内基準に求められている基準の4%を十分に上回っております。

業績の概要(単体)

池田泉州銀行の27年3月期の単体業績につきましては、経常収益は、資金運用収益、役務取引等収益及び国債等債券売却益の増加などにより、997億39百万円となりました。経常費用は、資金調達費用、営業経費や与信関連費用などの減少がありましたが、国債等債券売却損などの増加により、820億36百万円となりました。

以上の結果、実質業務純益は、26年3月期比22億13百万円増加して、152億34百万円となり、経常利益は、26年3月期比41億86百万円増加して、177億3百万円となりました。

また、特別損益並びに法人税等合計を計上後の当期純利益は、26年3月期比2億88百万円増加して、150億34百万円となりました。

預金残高については、27年3月末残高は26年3月末比1,552億円増加し、4兆7,725億円となりました。池田泉州TT証券を含めた預かり資産残高は、26年3月末比209億円増加し、3,061億円となりました。

また、貸出金残高についても、27年3月末残高は26年3月末比712億円増加し、3兆6,560億円となりました。

なお、27年3月末の金融再生法開示債権残高は、事業再生子会社2社分を含め、26年3月末比15億円減少して696億円となりました。この結果、27年3月末の開示債権比率は、26年3月末比0.07%低下して、1.88%となりました。

- 池田泉州銀行店舗
- ▲ 同店舗外ATMコーナー
- ◆ 同外貨両替ショップ
- 池田泉州TT証券店舗



池田泉州銀行店舗所在地 (平成27年7月末日現在)

大阪府		
大阪市		
本店営業部	大阪市北区茶屋町18番14号	〒530-0013 ☎(06) 6376-1781
本町支店	大阪市中央区久太郎町3丁目6番8号	〒541-0056 ☎(06) 6251-0791
大阪西支店	大阪市西区江戸堀2丁目1番1号	〒550-0002 ☎(06) 6443-8841
堺筋支店	大阪市中央区本町1丁目8番12号	〒541-0053 ☎(06) 6263-8050
あべのハルカス支店	大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目1番43号	〒545-6018 ☎(06) 6624-8418
梅田支店	大阪市北区芝田1丁目1番3号	〒530-0012 ☎(06) 6372-0231
堂島支店	大阪市北区西天満2丁目6番8号	〒530-0047 ☎(06) 6362-5051
淡路支店	大阪市東淀川区東淡路4丁目18番9号	〒533-0023 ☎(06) 6322-9240
上新庄支店	大阪市東淀川区上新庄2丁目24番23号	〒533-0006 ☎(06) 6328-2761
豊里支店	大阪市東淀川区豊里2丁目6番13号	〒533-0013 ☎(06) 6328-5121
大宮町支店	大阪市旭区大宮4丁目5番12号	〒535-0002 ☎(06) 6951-4771
新大阪支店	大阪市淀川区宮原3丁目5番24号	〒532-0003 ☎(06) 6396-5351
難波支店	大阪市中央区難波3丁目7番12号	〒542-0076 ☎(06) 6641-8771
帝塚山支店	大阪市住吉区帝塚山東3丁目8番14号	〒558-0054 ☎(06) 6673-6261
昭和町支店	大阪市阿倍野区阪南町1丁目28番4号	〒545-0021 ☎(06) 6621-3731
長居支店	大阪市住吉区長居3丁目8番14号	〒558-0003 ☎(06) 6692-7661
駒川町支店	大阪市東住吉区駒川13丁目30番10号	〒546-0043 ☎(06) 6628-5101
城東支店	大阪市城東区今福東1丁目10番5号	〒536-0002 ☎(06) 6934-1911
住之江支店	大阪市住之江区西住之江1丁目1番41号	〒559-0005 ☎(06) 6678-7171
池田市		
池田営業部	池田市城南2丁目1番11号	〒563-0025 ☎(072) 753-3737
石橋支店	池田市石橋2丁目17番13号	〒563-0032 ☎(072) 761-8281
石橋駅前出張所	池田市石橋1丁目8番4号	〒563-0032 ☎(072) 762-8061
池田駅前支店	池田市米町1番1号	〒563-0056 ☎(072) 751-8521
池田東支店	池田市旭丘2丁目4番15号	〒563-0022 ☎(072) 761-2415
箕面市		
箕面支店	箕面市桜井1丁目7番25号	〒562-0043 ☎(072) 721-2081
箕面駅前支店	箕面市箕面6丁目2番5-101号	〒562-0001 ☎(072) 721-3385
小野原支店	箕面市小野原東3丁目13番22号	〒562-0031 ☎(072) 728-8411
豊能郡		
能勢支店	豊能郡能勢町森上151番地の13	〒563-0362 ☎(072) 734-0077
ときわ台支店	豊能郡豊能町ときわ台5丁目7番地の6	〒563-0102 ☎(072) 738-4451
光風台出張所	豊能郡豊能町光風台2丁目20番4号	〒563-0104 ☎(072) 738-6422
豊中市		
豊中支店	豊中市本町1丁目2番4号	〒560-0021 ☎(06) 6854-1141
服部支店	豊中市服部元町1丁目6番3号	〒561-0851 ☎(06) 6862-0351
庄内支店	豊中市庄内東町3丁目19番32号	〒561-0831 ☎(06) 6332-3031
東豊中支店	豊中市東豊中町6丁目3番34-101号	〒560-0003 ☎(06) 6848-1331
旭ヶ丘支店	豊中市夕丘1丁目1番6号	〒561-0864 ☎(06) 6849-2351
北豊中支店	豊中市西緑3丁目12番1号	〒560-0005 ☎(06) 6848-5771
緑地公園支店	豊中市東寺内町11番23号	〒561-0871 ☎(06) 6385-8721
曾根支店	豊中市曾根東町3丁目2番8-101号	〒561-0802 ☎(06) 6865-0615
蛸池支店	豊中市蛸池東町2丁目2番16-101号	〒560-0032 ☎(06) 6841-8171
千里中央支店	豊中市新千里東町1丁目5番3号	〒560-0082 ☎(06) 6871-9981
摂津市		
摂津支店	摂津市東一津屋13番3号	〒566-0074 ☎(06) 4862-0055
千里丘支店	摂津市千里丘2丁目15番10号	〒566-0001 ☎(06) 6330-2851
吹田市		
吹田支店	吹田市内本町2丁目2番1号	〒564-0032 ☎(06) 6381-4741
南千里支店	吹田市津雲台1丁目1番4-111号	〒565-0862 ☎(06) 6871-0281
北千里支店	吹田市古江台4丁目2番	〒565-0874 ☎(06) 6872-0771
桃山台支店	吹田市桃山台5丁目2番1号	〒565-0854 ☎(06) 6831-0026
江坂支店	吹田市豊津町9番1号	〒564-0051 ☎(06) 6386-6301
佐井寺出張所	吹田市佐井寺南が丘17番6号	〒565-0837 ☎(06) 6337-0170
茨木市		
彩都支店	茨木市彩都あさぎ1丁目1番10号	〒567-0085 ☎(072) 641-3031
高槻市		
富田支店	高槻市大畑町5番2号	〒569-1144 ☎(072) 696-3933
枚方市		
枚方北支店	枚方市長尾元町5丁目19番10号	〒573-0163 ☎(072) 850-3611
津田支店	枚方市津田駅前1丁目26番5-101号	〒573-0125 ☎(072) 859-6511
交野市		
交野支店	交野市星田5丁目11番3号	〒576-0016 ☎(072) 893-2091
大東市		
大東支店	大東市野崎1丁目7番12号	〒574-0015 ☎(072) 877-3331
住道支店	大東市赤井2丁目1番8号	〒574-0046 ☎(072) 875-3731

東大阪市		
東大阪中央支店	東大阪市長田中4丁目1番44号	〒577-0013 ☎(06) 6745-6855
東大阪支店	東大阪下小阪5丁目2番33号	〒577-0803 ☎(06) 6725-0761
八尾市		
高安支店	八尾市山本高安町2丁目12番1号	〒581-0021 ☎(072) 998-0066
八尾支店	八尾市弓削町1丁目1番地	〒581-0032 ☎(072) 949-1080
羽曳野市		
羽曳野支店	羽曳野市南恵我之荘1丁目1番29号	〒583-0885 ☎(072) 954-1881
松原市		
松原支店	松原市天美東9丁目1番2号	〒580-0032 ☎(072) 932-5375
藤井寺市		
藤井寺支店	藤井寺市岡2丁目12番6号	〒583-0027 ☎(072) 939-8111
富田林市		
金剛支店	富田林市寺池台1丁目9番	〒584-0073 ☎(072) 29-1412
喜志支店	富田林市喜志町3丁目10番10号	〒584-0005 ☎(072) 24-0111
堺市		
鳳支店	堺市西区鳳南町4丁目413番地2	〒593-8325 ☎(072) 271-0781
堺支店	堺市堺区一条通14番8号	〒590-0048 ☎(072) 221-5101
諏訪森支店	堺市西区浜寺諏訪森町中2丁目158番地14	〒592-8348 ☎(072) 265-2661
初芝支店	堺市東区日置荘西町2丁目4番1号	〒599-8114 ☎(072) 285-4561
白鷺支店	堺市東区白鷺町1丁目21番12号	〒599-8107 ☎(072) 285-6060
上野芝支店	堺市西区上野芝町3丁目4番25号	〒593-8301 ☎(072) 279-3321
堺駅前支店	堺市北区北長尾町1丁目7番5号	〒591-8043 ☎(072) 252-1441
泉ヶ丘支店	堺市南区茶山台1丁目2番3号	〒590-0115 ☎(072) 291-2131
津久野支店	堺市西区津久野町1丁目11番3号	〒593-8322 ☎(072) 272-3355
北野田支店	堺市東区北野田37番地1	〒599-8123 ☎(072) 236-6321
東山支店	堺市中区東山905番地1	〒599-8247 ☎(072) 237-6201
もす支店	堺市北区百舌鳥梅北町5丁目389番地	〒591-8031 ☎(072) 258-5451
堺西支店	堺市堺区熊野町西3丁目2番7号	〒590-0947 ☎(072) 221-4431
新金岡支店	堺市北区新金岡町4丁目1番3号	〒591-8021 ☎(072) 254-1011
高石市		
高石支店	高石市加茂1丁目21番23号	〒592-0011 ☎(072) 265-5211
泉大津市		
泉大津支店	泉大津市田中町12番28号	〒595-0062 ☎(0725) 21-4681
和泉市		
和泉支店	和泉市府中町1丁目7番7号	〒594-0071 ☎(0725) 41-0490
三林支店	和泉市和泉町285番地の1	〒594-1102 ☎(0725) 55-0080
和泉南支店	和泉市箕形町4丁目6番1号	〒594-0042 ☎(0725) 53-2201
和泉中央支店	和泉市いびき野5丁目1番2号	〒594-0041 ☎(0725) 57-3181
泉北郡		
忠岡支店	泉北郡忠岡町忠岡南1丁目4番1号	〒595-0813 ☎(0725) 33-5101
岸和田市		
泉州営業部	岸和田市宮本町26番15号	〒596-8654 ☎(072) 433-4105
久米田支店	岸和田市大町445番地の1	〒596-0812 ☎(072) 445-0380
春木支店	岸和田市春木若松町8番14号	〒596-0006 ☎(072) 436-1251
東岸和田支店	岸和田市土生町4丁目2番2号	〒596-0825 ☎(072) 428-1351
貝塚市		
貝塚支店	貝塚市近木1488番地	〒597-0001 ☎(072) 431-4626
東貝塚支店	貝塚市半田1丁目1番11号	〒597-0033 ☎(072) 427-7621
泉佐野市		
泉佐野支店	泉佐野市栄町5番10号	〒598-0054 ☎(072) 463-2551
長瀬駅前支店	泉佐野市長瀬1128番地の1	〒598-0034 ☎(072) 466-1371
日根野支店	泉佐野市日根野4077番地の1	〒598-0021 ☎(072) 462-2701
泉南市		
泉南支店	泉南市信達牧野199番地の2	〒590-0522 ☎(072) 483-2286
新家支店	泉南市信達大苗代1400番地	〒590-0505 ☎(072) 482-2131
樽井支店	泉南市樽井6丁目11番7号	〒590-0521 ☎(072) 482-8921
阪南市		
阪南支店	阪南市尾崎町68番地	〒599-0201 ☎(072) 472-0601
箱作支店	阪南市箱作250番10	〒599-0232 ☎(072) 476-5501
泉南郡		
熊取支店	泉南郡熊取町大久保中2丁目27番5号	〒590-0403 ☎(072) 452-1401
田尻支店	泉南郡田尻町吉見688番地1	〒598-0092 ☎(072) 466-0103
岬町支店	泉南郡岬町深日1828番地の1	〒599-0303 ☎(072) 492-3221

兵庫 県			
神戸 市			
神戸支店	神戸市中央区京町71	〒650-0034	☎(078)321-4391
六甲支店	神戸市灘区山田町3丁目2番1号	〒657-0064	☎(078)841-2335
住吉御影支店	神戸市東灘区住吉本町3丁目5番4号	〒658-0051	☎(078)856-8015
芦屋 市			
芦屋支店	芦屋市大原町12番2号	〒659-0092	☎(0797)25-2260
尼崎 市			
武庫之荘支店	尼崎市武庫之荘1丁目5番4号	〒661-0035	☎(06)6436-4715
西武庫出張所	尼崎市武庫元町1丁目25番11号	〒661-0043	☎(06)6432-1441
塚口支店	尼崎市塚口町1丁目18番7号	〒661-0002	☎(06)6421-6000
西宮 市			
西宮北口支店	西宮市甲風園1丁目9番14号	〒662-0832	☎(0798)67-4631
茜園支店	西宮市南越木岩町5番24号	〒662-0075	☎(0798)71-4441
名塩支店	西宮市名塩新町8番地	〒669-1134	☎(0797)62-2051
夙川支店	西宮市寿町4番30号	〒662-0047	☎(0798)36-3101
伊丹 市			
伊丹支店	伊丹市西台1丁目1番1号	〒664-0858	☎(072)772-1051
稲野支店	伊丹市稲野町4丁目21番地の4	〒664-0861	☎(072)773-0831
宝塚 市			
宝塚支店	宝塚市南口1丁目7番35号	〒665-0011	☎(0797)71-8421
仁川支店	宝塚市仁川北2丁目7番1-102号	〒665-0061	☎(0798)52-3151
売布支店	宝塚市売布2丁目5番1号	〒665-0852	☎(0797)87-6331
中山台支店	宝塚市中山桜台2丁目2番1号	〒665-0877	☎(0797)88-5101
山本支店	宝塚市平井1丁目2番23号	〒665-0816	☎(0797)89-7780
宝塚駅前支店	宝塚市栄町2丁目3番1号	〒665-0845	☎(0797)81-3521
逆瀬川支店	宝塚市逆瀬川1丁目1番1号	〒665-0035	☎(0797)72-8870
川西 市			
川西支店	川西市栄町20番1号	〒666-0033	☎(072)759-4761
山下支店	川西市見野2丁目28番31号	〒666-0105	☎(072)794-1221
多田グリーンハイツ支店	川西市向陽台3丁目2番地の98	〒666-0115	☎(072)793-3001
多田支店	川西市多田桜木1丁目8番1号	〒666-0124	☎(072)793-4830
川西清和台支店	川西市清和台東3丁目1番地の8	〒666-0142	☎(072)799-0771
うね野支店	川西市大和西1丁目64番地の2	〒666-0112	☎(072)794-6631
川辺 郡			
日生中央支店	川辺郡猪名川町松尾台1丁目2番地の20	〒666-0261	☎(072)766-2361
三田 市			
三田支店	三田市中央町9番28-101号	〒669-1529	☎(079)562-2891
フラータウン出張所	三田市弥生が丘1丁目1番地の1	〒669-1546	☎(079)562-3231
三田ウディタウン支店	三田市すずかけ台2丁目3番地の1	〒669-1322	☎(079)565-1421

京都 府			
京都支店	京都市中京区御池通東洞院西入ル笹屋町435番地	〒604-8187	☎(075)231-0511
和歌 山 県			
和歌山支店	和歌山市美園町5丁目1番地の3	〒640-8652	☎(073)424-4181
東京 都			
東京支店	東京都千代田区丸の内2丁目2番1号	〒100-0005	☎(03)3284-1251
海 外（中国）			
蘇州駐在員事務所	中国江蘇省蘇州市吳中区宝带東路399号	☎86-(0)512-6585-1791	麗豊商業中心2幢A座707-709室

そ の 他			
インターネット支店	http://www.sihd-bk.jp/internet/index.html	☎0120-041892	
ダイレクト支店	http://www.sihd-bk.jp/internet/index.html	☎0120-041892	

外貨両替専門店			
外貨両替ショップ川西店	川西市栄町20番1号	〒666-0033	☎(072)759-4770
	(阪急川西能勢口駅1F・川西支店ATMコーナー横)		
外貨両替ショップ梅田店	大阪市北区芝田1丁目1番3号	〒530-0012	☎(06)6372-0901
	(阪急三番街地下1F 梅田支店内)		
外貨両替ショップ難波駅店	大阪市中央区難波5丁目1番60号	〒542-8503	☎(06)6647-8601
	(南海電鉄・なんば駅構内)		
外貨両替ショップあべのハルカス店	大阪市阿倍野区阿部野筋1丁目1番43号	〒545-6018	☎(06)6629-4888
	(あべのハルカス地下1F)		
関西国際空港出張所	泉佐野市泉州空港北1番地	〒549-0001	☎(072)456-7031
	(関西国際空港旅客ターミナルビル内)		

プライベートバンキングサロン			
プライベートバンキングサロン	大阪市北区茶屋町18番14号	〒530-0013	☎(06)6372-1491
	(大阪梅田池銀ビル3F)		
投資運用相談コーナー			
梅田投資運用相談コーナー	大阪市北区芝田1丁目1番3号	〒530-0012	☎(06)6372-6281
	(阪急三番街地下1F 梅田支店内)		
和泉中央投資運用相談コーナー	和泉市いぶき野5丁目1番2号	〒594-0041	☎(0725)57-3181
	(和泉中央支店内)		

ローンプラザ			
大 阪 府			
梅田ローンプラザ	大阪市北区芝田1丁目1番3号	〒530-0012	☎(06)6372-6321
	(阪急三番街地下1F・梅田支店内)		
本町ローンプラザ	大阪市中央区久太郎町3丁目6番8号	〒541-0056	☎(06)6251-6325
	(本町支店内)		
昭和町ローンプラザ	大阪市阿倍野区阪南1丁目28番4号	〒545-0021	☎(06)6625-7260
	(昭和町支店同ビル2F)		
城東ローンプラザ	大阪市城東区今福東1丁目10番5号	〒536-0002	☎(06)6934-1928
	(城東支店同ビル4F)		
池田ローンプラザ	池田市城南2丁目1番11号	〒563-0025	☎(072)753-3741
ローンプラザテライト池田	池田市栄町1番1号	〒563-0056 (池田駅前支店内)	☎(072)752-7351
千里中央ローンプラザ	豊中市新千里東町1丁目5番3号	〒560-0082	☎(06)6831-3778
	(千里朝日阪急ビル1F・千里中央支店ATMコーナー隣)		
千里丘ローンプラザ	摂津市千里丘2丁目15番10号	〒566-0001 (千里丘支店内)	☎(06)6330-2882
東大阪ローンプラザ	東大阪市下小阪5丁目2番33号	〒577-0803	☎(06)6725-6353
	(東大阪支店2F)		
藤井寺ローンプラザ	藤井寺市岡2丁目12番6号	〒583-0027	☎(072)930-4933
	(藤井寺支店同ビル4F)		
堺ローンプラザ	堺市堺区一条通14番8号	〒590-0048 (堺支店2F)	☎(072)226-3705
和泉中央ローンプラザ	和泉市いぶき野5丁目1番2号	〒594-0041	☎(0725)57-1800
	(ヒボ和泉中央1F・和泉中央支店内)		
泉州ローンプラザ	貝塚市二色2丁目1番1号	〒597-0091(パークタウンビル1F)	☎(072)438-9077

兵庫 県			
神戸ローンプラザ	神戸市中央区京町71	〒650-0034	☎(078)321-3331
	(京町筋沿・山本ビル1F・神戸支店内)		
塚口ローンプラザ	尼崎市塚口町1丁目18番7号	〒661-0002 (塚口支店内)	☎(06)6421-8851
西宮北口ローンプラザ	西宮市甲風園1丁目9番14号	〒662-0832 (西宮北口支店内)	☎(0798)67-2322
川西ローンプラザ	川西市栄町20番1号	〒666-0033	☎(072)759-5211
	(阪急川西能勢口駅1F・川西支店ATMコーナー内)		
三田ローンプラザ	三田市駅前町2番1号	〒669-1528	☎(079)562-6601
	(キッピーモール1F・三田駅前出張所内)		

お問合わせ			
商品、サービスに関するお問合わせ			受付時間
テレホンセンター	☎0120-041892	平日	9:00～20:00
	(1月1日～3日・日曜日を除く5月3日～5日は休業)	土日祝	9:00～17:00
個人インターネットバンキングに関するお問合わせ			
インターネットバンキングヘルプデスク	☎0120-092109	平日	9:00～21:00
		土日祝	9:00～17:00
法人インターネットバンキング、EBサービスに関するお問合わせ			
EBサポートセンター	☎0120-277575	平日	9:00～17:00
ご意見・ご要望・苦情窓口			
お客様センター	代表電話 ☎06-6375-1005	平日	9:00～17:00

金融ADR制度	
金融ADR制度とは、金融分野における裁判外紛争解決手続きのことで、お客さまが金融機関との間で十分に話し合いをしても問題の解決がつかないような場合にご活用いただける制度です。国の指定を受けて中立性を確保した指定紛争解決機関がお客さまや金融機関からの申出を受け、苦情やトラブルの解決を図ります。当行が契約している銀行法上の指定紛争解決機関は、一般社団法人全国銀行協会です。(連絡先:全国銀行協会相談室 ☎0570-017109または03-5252-3772)	

## 池田泉州銀行店舗外ATM設置場所（平成27年7月末日現在）

大阪府			
大阪市			
あべのハルカス			
イズミヤ淡路			
イズミヤ上新庄			
関西スーパー南江口			
グランフロント大阪			
なんばCITY			
池田市			
池田市役所			
市立池田病院			
伏尾台			
箕面市			
栗生間谷			
箕面市役所			
豊能郡			
能勢町役場			
のせボックス			
豊中市			
イズミヤ上新田			
小曽根			
北急千里中央駅前			
豊中市役所			
東泉丘			
豊中南			
吹田市			
アザール桃山台			
ガーデンモール南千里			
高槻市			
南平台			
枚方市			
長尾台			
交野市			
コモンシティ星田			
大東市			
オークワ大東店			
グルメシティ野崎店			
池田市			
池田市役所			
市立池田病院			
伏尾台			
箕面市			
栗生間谷			
箕面市役所			
豊能郡			
能勢町役場			
のせボックス			
豊中市			
イズミヤ上新田			
小曽根			
北急千里中央駅前			
豊中市役所			
東泉丘			
豊中南			
吹田市			
アザール桃山台			
ガーデンモール南千里			
高槻市			
南平台			
泉大津市			
アルザ泉大津			
泉大津市役所			
泉大津市立病院			

## 池田泉州銀行ステーションATM「Patsat（パツとサツと）」設置場所（平成27年7月末日現在）

阪急電鉄			
阪急梅田駅			
梅田駅 3 F 中央	改札内 (精算機横)		
梅田駅 3 F 南	改札外		
梅田駅 3 F 西	改札外		
梅田駅 2 F 中央	改札内 (精算機横)		
梅田駅 2 F 西	スーパー成城石井前		
梅田駅 2 F 東	改札外		
梅田駅 1 F 中央	ビッグマン広場前		
梅田駅 茶屋町口	阪急三番街北館1F		
阪急宝塚線・箕面線			
十 三 国 駅	改札内 (宝塚行きホーム)		
三 国 駅	改札外		
庄 内 駅	乗出口		
曾 根 駅	改札外		
岡 町 駅	改札外		
豊 中 駅	南改札内および外		
蛍 池 駅	改札外		
石 橋 駅	東改札外、改札内 (アズナス横)		
池 田 駅	改札外		
川 西 能 勢 口 駅	改札内、西改札外、東改札外		
宝 塚 駅	改札外		
箕 面 駅	改札外		
阪急神戸線・今津線			
園 田 駅	改札外		
塚 口 駅	南改札外		
武 庫 之 荘 駅	北改札内 (階段横)		
北大阪急行電鉄			
西 宮 北 口 駅	改札内 (駅室隣)、北改札外、南改札外、東改札外		
夙 川 駅	南改札外		
岡 本 駅	改札内 (三宮方面行きホーム)		
六 甲 駅	改札外		
神 戸 三 宮 駅	東改札外、西改札外、改札内		
逆 瀬 川 駅	改札外		
小 林 駅	改札外		
甲 東 園 駅	改札外		
今 津 駅	改札外		
阪急京都線・千里線			
南 方 駅	改札内 (梅田行きホーム)		
淡 路 駅	西改札外		
上 新 庄 駅	南改札外		
正 雀 駅	改札内		
南 茨 木 駅	改札外		
茨 木 市 駅	北改札外		
高 槻 市 駅	改札外		
長 岡 天 神 駅	改札外		
桂 駅	改札内		
西 院 駅	改札外		
大 宮 駅	改札外		
烏 丸 駅	西改札外		
河 原 町 駅	東改札外、中央改札外		
関 大 前 駅	北改札外		
南 千 里 駅	改札外		
山 田 駅	改札外		
北 千 里 駅	改札外		

北大阪急行電鉄			
本 店 営 業 部	大阪市北区茶屋町18番14号	〒530-0013	☎(06)6485-0337
	(池田泉州銀行 本店営業部内)		
堺 支 店	堺市堺区一条通14番8号	〒590-0048	☎(072)225-5711
	(池田泉州銀行 堺支店内)		

泉佐野市			
泉佐野駅前			
泉佐野市役所			
イオン日根野			
いこらも〜泉佐野			
羽倉崎駅前			
りんくうプレジャータウンシークル			
りんくうプレミアム・アウトレット			
泉南市			
イオンモールりんくう泉南			
泉南市役所			
ティリーカーナート新家店			
阪南市			
自然田			
ティリーカーナートはやし阪南店			
鳥取ノ荘駅前			
阪南市役所			
わくわくCITY			
泉州郡			
永山病院前			
熊取町役場			
岬町役場			
兵庫 県			
神戸市			
イオンモール神戸北			
コープ六甲			
甲南大学			
尼崎市			
つかしん			
南武庫之荘駅前			
西宮市			
コープ西宮北			
JR西宮名塩駅前			
阪急西宮ガーデンズ			
関西学院大学上ヶ原キャンパス			
伊丹市			
イオンモール伊丹			
市立伊丹病院			
伊丹市役所			
宝塚市			
すみれガ丘			
ダイエー宝塚中山			
ピビアめぶ			
宝塚市役所			
宝塚市立病院			
川西市			
川西市役所			
けやき坂			
市立川西病院			
川辺郡			
猪名川町役場			
イオン猪名川店			
三田市			
イオン三田ウディタウン			
三田駅前			
関西学院大学三田キャンパス			
三田市役所			

北大阪急行			
千 里 中 央 駅	改札外		
桃 山 台 駅	改札外		
緑 地 公 園 駅	改札外		
阪神電車			
阪神本線			
梅 田 駅	東改札外		
野 田 駅	改札外		
尼 崎 駅	西改札外		
甲 子 園 駅	東改札外 (アズナス前)		
西 宮 駅	えびす口改札外		
魚 崎 駅	改札外		
御 影 駅	改札外		
阪神なんば線			
西 九			



## 池田泉州ホールディングス

大阪府大阪市北区茶屋町18番14号 TEL.(06)4802-0181  
<http://www.senshuikedahd.co.jp/>



## 池田泉州銀行

大阪府大阪市北区茶屋町18番14号 TEL.(06)6375-1005  
<http://www.sihd-bk.jp/>



## 池田泉州TT証券

大阪府大阪市北区茶屋町18番14号 TEL.(06)6485-0031  
<http://www.sittsec.co.jp/>



本誌の印刷には、環境に配慮した  
植物油インキを使用しています。